

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路改良事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	01	道路改良事業

実施計画整理番号	
301010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要									
PLAN (計画)	<table border="1"> <tr> <th>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</th> <th>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</th> </tr> <tr> <td>道路利用者が安心・安全に通行できるよう、道路整備を行う。</td> <td>道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事、施工管理を実施する。</td> </tr> <tr> <th>平成29年度の具体的な目標</th> <th>平成29年度スケジュール</th> </tr> <tr> <td>圏央道アクセス … 継続して交渉を行い、用地の取得を目指す。また用地取得済み箇所のうち影響のない場所から工事発注を行う。 幹線道路の整備 … 1級12号線の工事を発注し、通行車の安全確保に努める。 生活道路の整備 … 3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行い、安全性、利便性の向上を図る。</td> <td>圏央道アクセス … 残る用地について交渉を行い、用地を取得する。 幹線道路の整備 … 第2四半期に1級12号線の整備を進める。 生活道路の整備 … 第3四半期までに3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行う。</td> </tr> </table>	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)	道路利用者が安心・安全に通行できるよう、道路整備を行う。	道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事、施工管理を実施する。	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール	圏央道アクセス … 継続して交渉を行い、用地の取得を目指す。また用地取得済み箇所のうち影響のない場所から工事発注を行う。 幹線道路の整備 … 1級12号線の工事を発注し、通行車の安全確保に努める。 生活道路の整備 … 3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行い、安全性、利便性の向上を図る。	圏央道アクセス … 残る用地について交渉を行い、用地を取得する。 幹線道路の整備 … 第2四半期に1級12号線の整備を進める。 生活道路の整備 … 第3四半期までに3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行う。
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)							
	道路利用者が安心・安全に通行できるよう、道路整備を行う。	道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事、施工管理を実施する。							
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール							
圏央道アクセス … 継続して交渉を行い、用地の取得を目指す。また用地取得済み箇所のうち影響のない場所から工事発注を行う。 幹線道路の整備 … 1級12号線の工事を発注し、通行車の安全確保に努める。 生活道路の整備 … 3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行い、安全性、利便性の向上を図る。	圏央道アクセス … 残る用地について交渉を行い、用地を取得する。 幹線道路の整備 … 第2四半期に1級12号線の整備を進める。 生活道路の整備 … 第3四半期までに3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行う。								

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	174,542	173,572	122,460	166,600	0	0	89,520	0	0	77,200	0	0	
財源内訳	国補助	千円	82,500	82,500	50,875	77,000	0	0	25,100	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	82,800	82,800	59,000	80,600	0	0	57,900	0	0	72,800	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,242	8,272	12,585	9,000	0	0	6,520	0	0	4,400	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	圏央道アクセス道路の整備	150,000	143,923	92,908	1-15についてはH30年度末完成予定。 1-16は継続して用地交渉と工事を実施していく。
②	幹線道路(市道1級、2級)の整備	5,250	6,578	6,578	予定していた工事は完了した。 継続して残りの工事を実施していく。
③	生活道路(市道3級)の整備	19,292	18,589	18,589	予定していた工事は完了した。 継続して残りの工事を実施していく。
④	生活道路(法定外等)の整備	0	4,482	4,385	予定していた工事は完了した。 継続して残りの工事を実施していく。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		174,542	173,572	122,460	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

圏央道アクセス … 1級15号線については道路改修工事を発注(繰越)し、H30完了予定。1級16号線については、新治小学校脇に土留め擁壁を設置し、歩道用地が確保出来た。
 幹線道路の整備 … 1級12号線については、水路用地へ構造物を設置したことで上面の有効活用が可能となり、歩行スペースの確保が出来た。
 生活道路の整備 … 3級8014号他については擁壁設置や側溝整備により、用地の有効利用が可能となり、歩道スペースなどが確保出来たことから生活道路における安心、安全が向上した。

DO
(実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010101
3	01	01	01	道路改良事業	7	01	03	01	道路改良事業	

29年度活動指標(アウトプット)の達成状況	29年度成果指標(アウトカム)の達成状況
市道10路線において道路改良工事を実施した。	51箇所／157箇所＝32.48%

妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由
A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用出来るような整備をした。また、市民からの要望も多い。	A:有効である 用地買収は、概ねの了承を得られ、また、幹線道路及び生活道路は、安心・安全に通行出来る道路整備が行えた。	B:やや効率的である 一部の路線で暫定形での整備を行ない、コスト削減に努力している。用地交渉に多大な時間を費やしてしまう。

「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由
B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会の意見収集	B:実現に向けて取り組んでいる 用地買収について、自治会に関係地権者への協力依頼を行っている。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割)	圏央道アクセス道路の1級15号線の用地取得は順調に進んだが、占用企業者との調整等に時間を要したため工事の進捗が図れなかった。1級16号線については小学校用地の工事は完了したが、難航地権者と引き続き交渉を継続し用地買収を行っていく。 幹線道路、生活道路の整備は、計画した路線の事業進捗が図れた。 複数の路線を継続実施しているが、住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。

企画政策課での評価とその理由	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割)	いずれの取り組みも、道路利用者の安全安心な通行に資するものであり、一定の成果を挙げたものと認められる。用地交渉が難航している箇所については、引き続き地権者との交渉に取り組み、事業の進捗に努めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

30年度活動指標(アウトプット)の設定	30年度成果指標(アウトカム)の設定
道路改良箇所数	整備率(着手箇所／要望箇所)

30年度における具体的な目標	30年度における事務事業スケジュール
圏央道アクセス … 継続して交渉を行い、用地の取得を目指す。また用地取得済み箇所のうち影響のない場所から工事発注を行う。 幹線道路の整備 … 1級12号線の工事を発注し、通行者の安全確保に努める。 生活道路の整備 … 3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行い、安全性、利便性の向上を図る。	圏央道アクセス…用地交渉は第二四半期までに契約を予定。 買収に関係の無い箇所の改良工事は、上半期に発注する。 幹線道路の整備…第一四半期に1級12号線の工事を実施する。 生活道路の整備… 3級80104号線ほかの工事を第二四半期までに発注を行う。

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路舗装新設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路舗装新設事業

実施計画整理番号	
301010102	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	道路利用者が安心・安全に通行できるように道路整備を行う。	未舗装道路の舗装工事の実施
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	3級6045号線他予定された箇所について、早期発注を目指す。	予定している2箇所及び私道舗装補助金の交付事務について、上半期中の発注を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	6,036	7,976	7,976	6,036	0	0	6,036	0	0	6,036	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,036	7,976	7,976	6,036	0	0	6,036	0	0	6,036	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	生活道路の舗装新設	6,036	7,976	7,976	予定していた工事は完了した。 市内各所の要望について継続して整備を行う。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		6,036	7,976	7,976	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
1級5号線ほか6路線の舗装新設工事を実施した。 私道舗装新設工事(地元施工)1件に対し、補助金を交付した。

D
O
(
実
施
)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010102
3	01	01	01	道路舗装新設事業	7	01	03	02	道路舗装新設事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路舗装整備延長 612mを施工した。				整備率 46,059m/70,336m 65.48%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。	A:有効である	生活道路における未整備路線を安心・安全に利用できるような整備が図られた。	B:やや効率的である	事業箇所の選択・集中を行い、コスト削減を図る必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初及び補正予算の予定路線の整備が図れた。複数路線を継続して実施しているが、住民要望は増加しており、要望に対して進捗が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予定していた箇所の舗装工事がなされたことから、一定の成果が挙げられたものと認められる。引き続き、計画的な整備に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	道路舗装延長				整備率			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
予定している3路線について、早期発注を目指す。				予定している3路線について、上半期中の工事発注を行う。				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

実施計画整理番号	
301010103	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要									
PLAN (計画)	<table border="1"> <tr> <th>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</th> <th>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</th> </tr> <tr> <td>生活環境の保全及び交通の円滑化と事故防止のため、道路補修を実施する。</td> <td>道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。</td> </tr> <tr> <th>平成29年度の具体的な目標</th> <th>平成29年度スケジュール</th> </tr> <tr> <td>路面性状調査の結果を基に、早急に修繕が必要区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。</td> <td>国の補助金を活用し、道路舗装修繕を行う。</td> </tr> </table>	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)	生活環境の保全及び交通の円滑化と事故防止のため、道路補修を実施する。	道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール	路面性状調査の結果を基に、早急に修繕が必要区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。	国の補助金を活用し、道路舗装修繕を行う。
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)							
	生活環境の保全及び交通の円滑化と事故防止のため、道路補修を実施する。	道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。							
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール							
路面性状調査の結果を基に、早急に修繕が必要区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。	国の補助金を活用し、道路舗装修繕を行う。								

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	198,911	214,107	134,842	224,000	0	0	208,000	0	0	218,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	97,042	97,042	19,496	113,300	0	0	104,500	0	0	110,000	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	71,400	71,400	72,300	83,400	0	0	76,900	0	0	81,000	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	30,469	45,665	43,046	27,300	0	0	26,600	0	0	27,000	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	点検業務	0	0	0	
②	道路長寿命化修繕計画業務	0	0	0	
③	道路附属物・のり面設計業務	0	0	0	
④	道路附属物・のり面補修工事	0	0	0	
⑤	幹線道路(市道1・2級)の舗装補修工事	176,440	176,440	97,926	継続的に道路の舗装補修工事を行っていく
⑥	生活道路(市道3級・法定外)の舗装・維持補修工事	12,578	25,250	24,723	継続的に道路の舗装・維持補修工事を行っていく
⑦	道路補修用資機材の調達・保守	9,893	12,417	12,193	継続的に道路維持補修用資機材を調達し、道路の維持補修を行っていく
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		198,911	214,107	134,842	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

道路舗装補修工事12箇所
 道路維持補修工事18箇所
 常温合材・加熱アスファルト・U字溝等購入

PLAN
(計画)

DO
(実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010103
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費	7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路舗装補修工事12箇所 道路維持補修工事18箇所				交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数(舗装補修12箇所、維持補修18箇所)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市が管理する道路であり、市が舗装修繕する必要がある。	A:有効である	道路舗装補修を実施することで交通の円滑化と事故防止が図られた。	B:やや効率的である	道路舗装補修が一部にとどまっている為。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、道路舗装の補修をすべき箇所が多数残っている。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね計画通り事業が実施されており、一定の成果が挙げられたものと認められる。維持補修が必要な箇所については、今後とも計画的に事業に取り組むものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	道路舗装補修箇所数 道路維持補修箇所数				交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数(修繕が完了した箇所数)			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
国の補助金を活用し、道路舗装修繕を行う。				路面性状調査の結果を基に、早急に修繕が必要な区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	01	01	01
橋梁長寿命化修繕事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	01	02	02
道路橋梁維持補修費			

実施計画整理番号	
301010104	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市管理の橋梁について、計画的な予防保全的維持管理に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減と併せて地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、順次橋梁の修繕を実施し、定期的に橋梁点検を行う。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。	国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	164,993	147,580	147,507	197,550	0	0	255,600	0	0	10,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	90,745	81,168	81,114	108,652	0	0	140,580	0	0	5,500	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	59,000	52,900	52,000	80,000	0	0	103,500	0	0	4,000	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	15,248	13,512	14,393	8,898	0	0	11,520	0	0	500	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	点検業務	18,998	17,712	17,712	継続的に橋梁点検を行っていく
②	橋梁長寿命化修繕計画策定業務	0	0	0	
③	修繕・耐震工事の設計業務	15,995	14,688	14,688	継続的に橋梁補修の設計業務を行っていく
④	長寿命化修繕及び耐震工事	130,000	115,180	115,107	継続的に橋梁修繕工事を行っていく
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		164,993	147,580	147,507	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
橋梁点検業務委託60橋 橋梁補修設計業務委託3橋 橋梁修繕工事4橋

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010104
3	01	01	01	橋梁長寿命化修繕事業	7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	橋梁点検60橋 橋梁補修設計3橋 橋梁修繕工事4橋				道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数(橋梁点検60橋、橋梁補修設計3橋、橋梁修繕工事4橋)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市が管理する橋梁の為、市が主体的に修繕を行う必要がある。	A:有効である	橋梁の点検及び補修設計により、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に寄与した。	B:やや効率的である	市管理橋梁の点検及び補修設計が一部にとどまったため。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、市で修繕すべき橋梁が多数残っている。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね計画通り事業が実施されており、一定の成果が挙げられたものと認められる。点検や修繕が必要な橋梁に関しては、今後も計画的に事業を進めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。				道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数(点検・補修設計・修繕工事を行った箇所数)			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。				「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(乗川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

実施計画整理番号	
302010201	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	河川改修に必要な用地取得を進める。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
河川拡幅用地として、2件・3筆(1290㎡)を取得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉(4月～12月) ・用地買収(10月～3月) 	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	7,880	19,382	11,627	11,880	0	0	11,540	0	0	63,570	0	0	
財源内訳	国補助	千円	2,626	5,815	3,428	3,960	0	0	3,846	0	0	21,190	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	4,700	12,200	6,200	7,100	0	0	6,900	0	0	38,100	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	554	1,367	1,999	820	0	0	794	0	0	4,280	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	河川改修に伴う事業用地の取得及び家屋移転	7,880	19,382	11,627	2件の用地を取得した。引き続き用地取得を推進するとともに区画道路1号の橋梁架換を進めていく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		7,880	19,382	11,627	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
河川拡幅用地として、2件・3筆(989.72m ²)を取得した。

D
O
(
実
施
)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	302010201
3	02	01	02	河川改修事業(乗川)	7	02	03	01	河川改修事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	河川拡幅用地として、2件・3筆(989.72m ²)を取得した。				平成29年度末時点の用地取得率を約59%まで向上させた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全に資する。	A:効率的である	国の社会資本整備総合交付金により実施。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	地元からの要請により事業進捗状況の説明を自治会回覧で行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元からの要請により事業進捗状況の説明を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見を聴取している。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	河川拡幅用地として、2件・3筆(989.72m ²)を取得し一定の成果があったものの、計画した用地取得ができなかった。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	今後も事業用地の取得に努め、早期の着工と円滑な工事の進捗を図るものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	用地取得率約59%を約63.5%に向上する。 区画道路1号の橋梁架換に係る詳細設計を完了する。				用地取得率 委託業務の執行			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
河川改修用地として、3件(1,193m ²)を取得する。 区画道路1号の橋梁架換に係る詳細設計を完了する。				用地交渉(4月~10月)、用地取得(10月~12月) 委託業務(8月~3月)				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	02	01	02
河川改修事業(梅田川)			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	02	03	01
河川改修事業			

実施計画整理番号	
302010202	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	(仮)早野排水機場の設置を行う。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	排水機場用地として、2件・2筆(340㎡)取得及び物件移転を補償する。	・用地交渉(8月～3月) ・用地買収、移転補償(11月～3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	48,314	45,713	12,213	142,500	0	0	470,515	0	0	510,763	0	0	
財源内訳	国補助	千円	16,000	16,000	3,744	47,500	0	0	156,838	0	0	170,254	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	29,000	29,000	6,900	85,500	0	0	282,300	0	0	306,400	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,314	713	1,569	9,500	0	0	31,377	0	0	34,109	0	0

D O (実 施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	(仮)早野排水機場設置	48,314	45,713	12,213	用地取得に係る用地測量並びに物件調査が完了し、今後は地権者と交渉を行い用地取得を進める。
	②		0	0	0	
	③		0	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			48,314	45,713	12,213	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
用地取得に係る用地測量並びに物件調査業務委託を実施した。

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	302010202
3	02	01	02	河川改修事業(梅田川)	7	02	03	01	河川改修事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	用地取得に係る用地測量並びに物件調査業務委託を実施した。		用地取得に係る用地測量並びに物件調査業務委託は完了したが、用地取得及び建物移転補償には至らなかった。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全に資する。	A:効率的である	国の社会資本整備総合交付金により実施。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	地元説明会及び自治会回覧で計画の説明に努めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元説明会及び自治会回覧で計画の説明に努めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会において、事業評価や改善検討を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	用地取得に係る用地測量並びに物件調査業務委託を完了し、地権者と交渉を開始したが、契約には至らなかった。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	流域の浸水被害軽減に資する取り組みとして認められることから、早急に用地取得を進め、事業の進捗に努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	用地取得率100%		用地取得率	
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
用地取得件数全6件(1900㎡)を完了する。		用地交渉(4月~9月)、用地取得(9月~3月)		

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

実施計画整理番号	
304030101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	合併処理浄化槽設置促進について、単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置に対する補助制度を継続するとともに、浄化槽の機能を発揮させるため設置者への指導や広報紙等による啓発を行い、公共用水域の水質汚濁防止に努めます。	単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置する市民に対し補助金を交付する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
単独処理浄化槽からの転換18基、汲み取り便槽からの転換7基を実施する。	4月ホームページに掲載 4月10日広報掲載	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	9,190	9,190	7,240	9,190	0	0	9,190	0	0	9,190	0	0	
財源内訳	国補助	千円	1,750	1,750	1,050	1,750	0	0	1,750	0	0	1,750	0	0
	県補助	千円	3,720	3,720	2,920	3,720	0	0	3,720	0	0	3,720	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,720	3,720	3,270	3,720	0	0	3,720	0	0	3,720	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	合併処理浄化槽の設置促進	9,190	9,190	7,240	補助基数20基、今後は補助額の増額を検討す
②	広報による浄化槽の適正管理の推進	0	0	0	概ね達成できた。引き続き推進する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		9,190	9,190	7,240	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

単独浄化槽転換設置5人槽390,000円×11基=4,290,000円 7人槽390,000円×2基=780,000円
 汲み取り転換設置5人槽310,000円×6基=1,860,000円 10人槽310,000円×1基=310,000円

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	304030101
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業	4	01	07	02	浄化槽対策事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	平成29年度合併処理浄化槽補助基数 20基 単独浄化槽転換 5人槽-11基 10人槽-2基 汲み取り転換 5人槽-6基 10人槽-1基					水質汚濁防止が図られた処理人口 60人 平成29年度末合併処理浄化槽処理人口 30,618人				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である		単独浄化槽及び汲み取り便槽から合併浄化槽への転換をする市民に対し補助金を交付した。	A:有効である		生活排水対策として、地域・建物の用途を定め合併処理浄化槽への転換設置者に対し助成を行い、公共用水域の水質汚濁防止を推進した。	A:効率的である		浄化槽の機能を発揮させるため、設置者への指導や広報市等による啓発を行った。	
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している		広報やホームページにおいて周知している。	C:実現の余地がない			C:実現の余地がない			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		補助金額が千葉県でもかなり低く、補助件数を増やすためにも一般的な水準の補助金額まで増額を要望していく必要がある。							
	企画政策課での評価とその理由									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		合併処理浄化槽への転換に対する補助実績は、25基の目標に対して20基止まりではあったが、公共用水域の水質汚濁防止に一定の成果が挙げられたものと認められる。今後も合併処理浄化槽への転換を進めるため、制度の周知に努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定				
	補助基数					水質汚濁防止が図られた処理人口				
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール					
4月ホームページ掲載 4月10日広報掲載					単独処理浄化槽からの転換18基、汲み取り便槽からの転換7基を実施する。					

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

実施計画整理番号	
304040101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 幹線排水路及び生活排水路を計画的に整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 茂原市排水基本計画に基づき排水施設の整備を進める。
平成29年度の具体的な目標 排水路整備 2箇所(下永吉・高師)の完了 内水排除ポンプ設置(東郷地先水門)の完了	平成29年度スケジュール 支線排水路の整備(5月～11月) 内水対策の実施(6月～3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	21,264	29,660	28,053	40,044	0	0	22,520	0	0	20,800	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	15,900	22,200	21,000	30,000	0	0	16,800	0	0	15,600	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,364	7,460	7,053	10,044	0	0	5,720	0	0	5,200	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	下永吉字川田地先	4,504	4,244	4,244	計画した排水路整備が完了した。
②	高師字穂積地先	6,716	7,474	7,474	計画した排水路整備が完了した。
③	小林字三反歩地先	0	4,320	4,320	計画した排水路整備が完了した。
④	国府関字當長谷地先	10,044	11,440	9,974	計画した排水路整備が完了した。 継続して残りの排水路整備を実施していく。
⑤	下永吉字馬場前地先	0	2,182	2,041	計画した排水路整備が完了した。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		21,264	29,660	28,053	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・下永吉字川田地先 整備延長 L=98.0m
- ・高師字穂積地先 整備延長 L=413.5m
- ・小林字三反歩地先 整備延長 L=108.7m
- ・国府関字當長谷地先 整備延長 L=41.0m
- ・下永吉字馬場前地先 整備延長 L=5.8m

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	304040101
3	04	04	01	排水整備事業	7	02	02	02	排水整備事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	排水不良地区5箇所(内新規着手4箇所)の整備を行った。				整備率(着手率) 107箇所/190箇所 56%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	排水不良が解消され生活環境の向上に資する。	A:有効である	排水不良が解消された。	B:やや効率的である	事業箇所の選択と集中を行い、コスト削減を図る必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初及び補正予算の予定箇所の整備が図られた。地域住民からの整備要望が多く、要望に対して進捗が図れない状況である。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予定していた排水不良地区の整備を実施したことから、一定の成果が挙げられたものと認められる。継続した整備が必要な箇所については、引き続き計画的に整備を進めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	排水不良箇所の整備(箇所数)				整備率(着手率)			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
排水路整備2箇所の実施				排水路整備(9月～3月)				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	内水対策関連事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業

実施計画整理番号	
304040102	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	平成25年10月の台風26号に伴う浸水被害を受け、同程度の大雨による床上床下被害を大幅に軽減することを目標に対策を行う。	床上床下の浸水被害が大きい地区の水門に排水ポンプ施設を設置し早期に被害軽減を図る。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	内水排除ポンプ設置(東郷地先水門)の完了	内水対策の実施(6月~3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	220,702	333,616	124,913	107,861	0	0	372,583	0	0	213,840	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	32,000	32,000	18,000	32,000	0	0	32,000	0	0	32,000	0	0
	市債	千円	141,500	226,000	80,100	56,800	0	0	255,400	0	0	136,300	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	47,202	75,616	26,813	19,061	0	0	85,183	0	0	45,540	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	東郷地先水門(排水ポンプ設置)	218,701	321,074	112,461	排水ポンプ整備に係る躯体工事が完了し、引き続き、設備工事を実施し被害軽減を図る。
②	長清水水門(排水ポンプ設置)	0	0	0	
③	鷺巣稲荷前水門(排水ポンプ設置)	0	10,541	10,541	排水ポンプ整備に係る詳細設計が完了し、順次、排水ポンプ整備を実施し被害軽減を図る。
④	早野明光地区	0	0	0	
⑤	東茂原地区	2,001	2,001	1,911	幹線排水路改修に必要な測量が完了し、順次、詳細設計・工事を実施し被害軽減を図る。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		220,702	333,616	124,913	

<p>平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東郷地先水門の排水ポンプ躯体工事を実施。 ・鷺巣稲荷前水門の排水ポンプ詳細設計を実施。 ・東茂原地区の幹線排水路改修に係る測量を実施。

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	304040102
3	04	04	01	内水対策関連事業	7	02	02	01	内水対策関連事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	東郷地先水門の排水ポンプ躯体工事の完了及びポンプ設備工事の実施(H30年度繰越)				内水排除ポンプ設置(東郷地先水門)の完了 H30年度に繰越			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全に資する。	B:やや効率的である	事業箇所の選択と集中により、効率の向上が見込める余地がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧等において整備に関する説明を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会等から整備に関する意見を受けている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元調整が必要な事案について、自治会等と協議を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	東郷地先水門の排水ポンプ躯体工事は完了したが、ポンプ設備工事が繰越となった。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	排水ポンプの設置は浸水被害の軽減に資する取り組みとして有効であると認められるので、繰り越しとなったポンプ設備工事の早期完成を期すとともに、他の排水不良地域についても計画的に事業を進めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	内水排除ポンプ設置(東郷地先水門) 完了 1箇所 内水排除ポンプ設置(長清水水門) 着手 1箇所				内水排除ポンプ設置			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
東郷地先水門のポンプ設備工事の完了 東郷地先水門の既設水門撤去工事の完了 長清水水門のポンプ躯体工事の完了				東郷地先水門のポンプ設備工事(H29繰越~6月) 東郷地先水門の既設水門撤去工事(9月~3月) 長清水水門のポンプ躯体工事(9月~3月)				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	04	04	01
道路排水整備事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	01	03	05
道路排水新設事業			

実施計画整理番号	
304040103	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	道路利用者の安全性を確保するために、道路排水不良箇所の整備を行う。	道路排水整備工事の実施
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	1級26号線他予定された箇所について早期発注を目指す。	予定している2箇所及び私道排水整備補助金の交付事務について、上半期中の発注を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	9,951	17,538	17,445	5,622	0	0	5,622	0	0	5,622	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,951	17,538	17,445	5,622	0	0	5,622	0	0	5,622	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	道路排水の整備	9,951	17,538	17,445	予定箇所について工事を実施した。継続路線については引き続き工事を実施していく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		9,951	17,538	17,445	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

3級8184号線他3路線については継続して整備を行い、一定の排水不良箇所解消が図れた。
私道排水整備(地元施工)1件について、補助金の交付を行った。

D
O
(
実
施
)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	304040103
3	04	04	01	道路排水整備事業	7	01	03	05	道路排水新設事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路排水不良箇所 9箇所の整備を行った。 私道排水整備(地元施工)1件に対し、補助金の交付を行った。				整備(着手)率 81箇所/320箇所 25.31%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備をした。また、市民からの要望も多い。	A:有効である	排水不良箇所の解消が図れた。	B:やや効率的である	事業箇所の選択・集中を行い、コスト削減を図る必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初及び補正予算の予定路線の整備が図れた。複数路線を継続して実施しているが、住民要望は増加しており、要望に対して進捗が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予定していた道路排水不良箇所の整備が行われたことから、一定の成果が挙げられたものと認められる。引き続き計画的に事業の進捗を図るものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	排水不良箇所の整備(箇所数)				整備(着手)率			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
3級8184号線他予定された箇所について、早期発注を目指す。				予定している6路線について上半期の発注を行う。				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	05	02	03
緑化推進事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
4	01	06	02
緑化推進事業			

実施計画整理番号	
305020301	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	<p>緑のある美しいまちづくりを進めるため、公共施設へ緑や花の植栽に努めるとともに、自治会等に市の花コスモスの種子を配布するなど、全市的な「花いっぱい運動」を展開し、普及を図ることを目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への緑や花の植栽 自治会等に市の花コスモスの種子配布 花いっぱいコンクールの実施
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> 茂原駅ロータリー及び公民館前の花壇への植栽 公共施設や商店街に草花を配布する。 自治会等に市の花コスモスの種子を配布する。 花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催する。 花いっぱい運動推進協議会の活動支援のため補助金を交付する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への草花の植栽(通年) 自治会等に市の花コスモスの種子の配布(6月) 花いっぱいコンクールの実施(春、秋) 花いっぱい運動推進協議会の運営(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,331	2,331	2,298	2,269	0	0	2,331	0	0	2,269	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	10	10	10	10	0	0	10	0	0	10	0	0
	一般財源	千円	2,321	2,321	2,288	2,259	0	0	2,321	0	0	2,259	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	公共施設への緑や花の植栽	1,835	1,835	1,772	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	自治会等に市の花コスモスの種子配布	324	324	358	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	花いっぱいコンクールの実施	82	82	78	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	花いっぱい運動推進協議会の運営	90	90	90	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,331	2,331	2,298	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 茂原駅南口、東口ロータリー花壇及び公民館前花壇への草花の植栽及び公共施設等に草花を配布した。 自治会等に市の花コスモスの種子を配布した。(157リットル) 花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催した。 花いっぱい運動推進協議会の活動を支援するため、補助金を交付した。

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	305020301
3	05	02	03	緑化推進事業	4	01	06	02	緑化推進事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	全市的な花いっぱい運動を展開することを指標とする。 ・公共施設への草花の植栽(18,607苗) ・自治会等に市に花コスモスの種子を配布(157リットル) ・花いっぱいコンクールの実施(春・秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営				緑や花を育てる市民意識の高揚を図り、緑豊かなうらおいのあるまちづくりに努める。 ・花いっぱいコンクール参加者数(4個人、34団体) ・地域の花壇数(15箇所)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	公共施設へ草花を植栽し、緑ある美しいまちづくりを推進した。	A:有効である	自治会等に市の花コスモスの種子を配布したり花いっぱいコンクールを開催したりするなど全市的な運動を展開した。	A:効率的である	千葉県まちづくり公社から寄付をうけた花苗を有効活用した。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	広報紙や市ウェブサイトでのコンクールの周知を行った。	B:実現に向けて取り組んでいる	コンクール参加者の増加に取り組む必要がある。	A:実現している	花いっぱい運動推進協議会と連携し取り組んだ。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取り組みを通じて市民意識の高揚を図ることで緑化推進に成果をあげることができた。花いっぱいコンクールの参加者の増加に取り組む必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	緑ある美しいまちづくりに資する取り組みとして、一定の成果が挙げられたものと認められる。今後は地域における花壇設置の推進等、より多くの市民に取り組みを周知する方法を検討するものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	全市的な花いっぱい運動を展開することを指標とする。 ・公共施設への草花の植栽(配布数) ・自治会等に市に花コスモスの種子を配布(配布量) ・花いっぱいコンクールの実施(春・秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営				緑や花を育てる市民意識の高揚を図り、緑豊かなうらおいのあるまちづくりに努める。 ・花いっぱいコンクール参加者数 ・地域の花壇数			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
・公共施設への草花の植栽(通年) ・自治会等に市の花コスモスの種子の配布 ・花いっぱいコンクールの実施(春・秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営(通年)				・茂原駅ロータリー、公民館前の花壇への植栽 ・公共施設等に草花を配布 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布 ・花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催 ・花いっぱい運動推進協議会の活動支援のため補助金の交付				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	05	03	01
都市公園等維持補修事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	03	03	03
都市公園等維持補修事業			

実施計画整理番号	
305030101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	公園内の遊具・施設について、子供たちが楽しく、安心して遊べるよう、適切な維持管理を行う	老朽化した遊具・施設を計画的に補修・更新していく。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	公園の利用者数(茂原公園、富士見公園、萩原公園)	①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の施設設置工事1件

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,571	2,853	2,798	4,276	0	0	4,692	0	0	4,180	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,571	2,853	2,798	4,276	0	0	4,692	0	0	4,180	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	茂原公園の施設整備	0	0	0	
	②	富士見公園の施設整備	302	292	292	富士見公園野球場の水洗化可能な便所1箇所の改修工事を実施した。
	③	萩原公園の施設整備	0	0	0	
	④	各公園の老朽遊具の更新	0	0	0	
	⑤	各公園の老朽施設の補修	2,269	2,561	2,506	老朽化が進む公園灯3基についてLED化工事を実施し、また老朽化遊具3基の更新工事を実施した。今後も継続していく。
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計		2,571	2,853	2,798		

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事1件(2公園)	

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	305030101
3	05	03	01	都市公園等維持補修事業	7	03	03	03	都市公園等維持補修事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事1件(2公園)				公園の利用者数の増加(茂原公園・富士見公園・萩原公園)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	公園の適正な維持管理をするため、公共事業で施工管理する必要がある。	A:有効である	公園遊具の安全は保たれ、事業成果は確実に得られている。	A:効率的である	日常の点検管理を行い、将来的なコスト増大にならないよう予防保全的な維持管理に努める。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	C:実現の余地がない	施設の整備工事及び補修工事であり、取り組み余地がない。	C:実現の余地がない	施設の整備工事及び補修工事であり、取り組み余地がない。	C:実現の余地がない	施設の整備工事及び補修工事であり、取り組み余地がない。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	安全性を求められる公園遊具の補修について速やかに対応できた。利用者の安心安全な公園維持のため、計画的な維持管理が必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種公園の補修工事及び施設設置工事を実施し、公園の適正な維持管理に一定の成果が挙げられたと認められる。今後も計画的な公園整備に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事3件				公園の利用者数の増加(茂原公園・富士見公園・萩原公園)			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事3件				公園の利用者数の増加(茂原公園・富士見公園・萩原公園)				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

実施計画整理番号	
305030102	
総合戦略整理番号	32103

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原市の中心的都市公園である茂原公園を、利用者の増大につながる公園整備の推進と他部門部署と連携したイベントを開催する。また、さくらの点検及び外科治療を継続的に実施し、樹勢回復に努める。	公園内の施設やさくらの樹勢回復などの環境を整備し、ソフト面では、健康づくりのためのウォーキング、体験で学習する場の提供など関係団体と連携しつつ事業を推進する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数304本 治療済234本	茂原公園サクラの点検(点検120本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療77本)	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,484	3,484	3,484	1,720	0	0	11,470	0	0	8,000	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	4,500	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	4,000	0	0	5,600	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,484	3,484	3,484	1,720	0	0	2,970	0	0	2,400	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	多世代が行き交う公園の改修	0	0	0	社会資本整備交付金をを活用し、施設改修を実施していく。
②	茂原公園の桜の再生	3,484	3,484	3,484	今後も継続していく。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		3,484	3,484	3,484	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
茂原公園サクラ点検業務委託 120本 茂原公園サクラ外科治療業務委託 74本	

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	305030102
3	05	03	01	茂原公園再生事業	7	03	03	05	茂原公園再生事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	茂原公園サクラの点検(点検120本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療74本)				・茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。計画数304本、治療済み231本			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	茂原公園再生計画は、観光地としての魅力向上や、多世代が集う場として公園再生に結びつくものである。	A:有効である	さくらの外科治療により樹勢回復の成果が得られている。	B:やや効率的である	茂原公園再生にかかる経費削減は避けられないが、今後の経費増大にならないよう適正な維持管理に努める。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	その他	茂原公園再生計画におけるハード整備実施予定年度との整合性がないため、共有が難しい。	B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組が計画されている。	B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組が計画されている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	日本さくらの名所100選として、さくらの魅力の再生やさくらを楽しむための知名度の向上を図るため、さくらの健全度調査や外科治療の成果は得られていると考えるが、茂原公園再生計画における観光地としての魅力向上や多世代の来園者の増につなげるためには、ハード整備による環境を整えることが必要不可欠である。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	さくらの再生事業については、ほぼ計画通り進捗しており一定の成果を挙げていると認められる。今後は茂原公園再生計画と整合を図りながら、事業に取り組んで利用者の増加に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	茂原公園サクラの点検(点検120本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療41本)				茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数304本 治療済み272本			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
茂原公園サクラの点検(点検120本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療41本)				茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数304本 治療済み272本				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅集約化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	市営住宅集約化事業

実施計画整理番号	
306010102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>市営住宅11住宅、管理戸数759戸のうち、老朽化が激しく、入居率の低い市営吉井住宅、および、市営国府関住宅について、住宅の集約化を図る事により、維持管理費の経費削減を図る。</p>	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <p>市営吉井住宅、および、市営国府関住宅の入居者に対して、将来的な市の住宅施策を説明し、個別に意向確認をしながら、他の市営住宅を含めた別の住宅に転居させる。 市営吉井住宅を解体し、用途廃止する。</p>
<p>平成29年度の具体的な目標</p> <p><市営吉井住宅> ①住宅用地の確定作業 ②入居者との移転交渉 ③転居用住宅の確保と改修 <市営国府関住宅> ①入居者に対する事業説明の実施。</p>	<p>平成29年度スケジュール</p> <p>①市営吉井住宅用地の隣接所有者との境界立会及び境界確定等の業務。 ②住民の意向に沿った転居用市営住宅の確保 ③入居者と移転補償契約の締結、並びに住宅の改修に関する業務委託、及び移転完了等確認の業務。 ④市営国府関住宅入居者に対する住民説明会の開催と意向調査の実施。</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	7,992	10,686	10,558	2,341	0	0	34,020	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	30,600	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,992	10,686	10,558	2,341	0	0	3,420	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市営吉井住宅用途廃止に伴う用地測量業務委託	7,992	5,254	5,126	用地境界確定後、必要な分合筆を行った。建物解体後にそれぞれ石杭の設置等を行う。
②	転居用市営住宅の補修	0	3,905	3,905	市営八幡原住宅4戸と市営山崎住宅1戸を移転用住宅として改修を行った。
③	市営吉井住宅入居者屋内動産移転	0	1,527	1,527	入居者6戸に対し移転補償(契約)を行い、年度内に移転完了を確認した。残りの2戸は来年実施予定。
④	市営吉井住宅解体工事	0	0	0	平成31年度に実施予定。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		7,992	10,686	10,558	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

①すべての隣接地権者と境界立会を行い、境界の同意を得ることが出来た。現地に仮杭(木杭)を設置。一部合筆し分筆を行った。
②市営吉井住宅居住8戸の内6戸の移転が完了した。5戸は別の市営住宅へ、1戸は民間住宅に転居。更に、残りの2戸についても来年度中に移転を行う予定。
③市営国府関住宅の入居者(10戸)に対し住民説明会を開催し、意向調査(アンケート)を実施、その後個別面談を行った。

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010102
3	06	01	01	市営住宅集約化事業	7	04	01	05	市営住宅集約化事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	市営吉井住宅入居8戸中6戸の移転を完了。5戸の市営住宅を転居用に改修を行った。本年度移転補償契約を行った6戸すべてが年度内に移転を完了し、予定以上の成果を挙げた。				住宅の解体を行い用途を廃止して始めて事業が完結するので、評価するのは難しいが、現在行っているその前段事業は非常に順調に進んでいる。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	総合計画及び公共施設等総合管理計画に合致。	A:有効である	老朽化し利用率の低い施設を一日でも早く用途廃止を行えば、その分の維持管理に費やす経費の縮減に繋がる。	A:効率的である	老朽化し利用率の低い施設を一日でも早く用途廃止を行えば、その分の維持管理に費やす経費の縮減に繋がる。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	その他	事業の進捗状況等の情報提供の必要性について検討する。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	吉井住宅8戸中6戸の移転が完了し、残りの2戸についても来年度中の移転の予定である。その事によって、国府関住宅にも事業展開できたことは、計画以上に事業が推移している証拠であるが、今一度、住民の立場に立った慎重な対応を心掛けながら、事業の推進を図りたい。移転事業は順調であるが、予定通りに建物解体に係る予算の確保ができるか、また国府関住宅の用途廃止後の土地利用方針についての議論が進んでいない点などは今後の課題である。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市営住宅の集約化に向け、入居者の移転は順調に進捗しており、十分な成果を挙げていると認められる。今後も計画的に移転事業を進めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	①市営吉井住宅入居者(残る2人)との移転交渉の実施 ②国府関住宅入居者(10人)との移転交渉の実施 ③国府関住宅の用途廃止後の土地利用についての庁内協議の実施				①市営吉井住宅入居者数 ②市営国府関住宅入居者数 ③国府関住宅の用途廃止後の土地利用方針の有無			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
①吉井住宅居住2戸の移転の完了。 ②国府関住宅居住10戸の移転交渉の着手。 ③国府関住宅の用途廃止後の土地利用方針の確定。				①入居者と移転補償契約の締結と移転完了等確認の業務。 ②住民の意向に沿った転居用市営住宅の確保と、住宅の改修に関する業務委託及び管理等の業務。 ③国府関住宅の跡地利用と、借地および隣接住宅地の取扱い等、具体的に庁内協議を行う(事業化も検討)。				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業

実施計画整理番号	
306010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要							
PLAN (計画)	<table border="1"> <tr> <th>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</th> <th>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</th> </tr> <tr> <td>耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。</td> <td>耐震性の低い木造住宅の所有者等に対し耐震相談を行い、耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を補助する。</td> </tr> <tr> <th>平成29年度の具体的な目標</th> <th>平成29年度スケジュール</th> </tr> </table>	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)	耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	耐震性の低い木造住宅の所有者等に対し耐震相談を行い、耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を補助する。	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)					
	耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	耐震性の低い木造住宅の所有者等に対し耐震相談を行い、耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を補助する。					
平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール						
耐震化補助金の交付対象を昭和56年5月31日以前から平成12年5月31日へ拡大し、市民より要望の多かった旧耐震建築物に増改築した木造住宅への耐震補助を推進する。診断費、改修費補助金利用者の増加により耐震化率の向上につなげる。	相談会：1回平成29年5月26日(金)、2回平成29年6月25日(日)、3回平成29年8月25日(金)、4回平成29年9月24日(日)、5回平成29年11月24日(金)、以上5回開催(各回、耐震診断士2名を派遣)産業まつり：平成29年11月3日(金)耐震相談ブースを出店、相談会等の周知：広報誌への掲載、HPへの掲載、自治会回覧						

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	4,333	4,333	2,104	4,333	0	0	4,333	0	0	4,333	0	0	
財源内訳	国補助	千円	1,966	1,966	857	1,966	0	0	1,966	0	0	1,966	0	0
	県補助	千円	733	733	350	733	0	0	733	0	0	733	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,634	1,634	897	1,634	0	0	1,634	0	0	1,634	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	無料耐震相談会の開催	133	133	133	計画通り全5回、20組の耐震相談を実施。各回キャンセル待ちが出ており、次年度は増回予定。
②	耐震診断費用の助成	1,200	1,200	1,150	診断補助制度予定件数の10件に交付。平成28年度より5件増加。
③	耐震改修費用の助成	3,000	3,000	821	耐震改修費補助金を2件に交付。平成28年度より2件増加。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		4,333	4,333	2,104	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

耐震相談会：近年頻発する地震の影響から、耐震に対する注目度が高まり、相談会申込者が平成28年度より6組増加。昨年に続きキャンセル待ちも出ている。

耐震診断補助：平成29年度10件交付。耐震診断費補助金を増額、対象建物の診断を行う人が平成28年度より5組増加。

耐震改修補助：平成29年度2件交付。診断の結果を受けて耐震改修を選択する人がいる一方で、改修工事費が高いことを理由に解体、建て替えを選択する人もいた。産業まつりブース出店、広報誌への掲載、HPへの掲載、自治会回覧。

DO
(実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010201
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業	7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	計画通り年5回の耐震相談会を実施 相談組数20件 耐震診断費補助金交付者10件				市内建築物の耐震化率の向上 平成28年度83.15%→平成29年度83.60%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	頻発する地震に対する耐震化率の向上を目指し、行政が市内建築物の耐震化を支援する必要がある。	A:有効である	耐震補助対象建築物の所有者が高齢化しており、高額な耐震改修費用の捻出が困難な社会背景がある。	A:効率的である	耐震相談→耐震診断→耐震改修→という流れは効率的であり、市民ニーズを満たしている。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	広報誌、回覧、ホームページにより周知。産業まつりにブース出店を行い、市民の目につきやすいところで積極的な周知活動を展開。	A:実現している	窓口では、いつでも補助金の相談を受け付けており、相談会では参加者アンケートを実施。施策に意見を取り入れる機会を設けている。	A:実現している	個人情報を含んでおり、行政のみでしか実施できない。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	耐震相談会を計画通り年5回開催し、相談は上限の20組実施。キャンセル待ちも多く出ている状況。相談組数は平成28年度より6組の増加。平成29年度より補助金の交付対象を昭和56年以前から平成12年以前に拡大した効果により、耐震改修の入口となる耐震診断費補助金の利用者は上限の10組の交付となった。耐震改修費補助金は昨年より2組増加した。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市内建築物の耐震化率は、平成29年度の目標値を達成し、一定の成果が得られたと認められる。ただし、耐震改修工事の補助交付件数は2件と未だに低調であるため、補助に繋がるような方策を引き続き検討するものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	※全ての補助対象建築物を平成12年5月31日以前とする。 年7回の耐震相談会を実施(年間相談組数上限28件) 産業まつりブース出店 耐震診断補助金利用者10件 耐震改修補助金利用者5件				市内建築物耐震化率84.05%(平成29年度耐震化率83.60%)			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
相談会:1回平成30年5月25日(金)、2回平成30年6月24日(日)、3回平成30年7月31日(火)、4回平成30年8月26日(日)、5回平成30年9月28日(金)、6回平成30年10月28日(日)、7回11月30日(金)以上7回開催(各回、耐震診断士2名を派遣)産業まつり:平成30年11月3日(金)耐震相談ブースを出店、相談会等の周知:広報誌への掲載、HPへの掲載、自治会回覧、地元情報誌への掲載、チラシのカラー化				平成30年5月から12月までの期間、耐震診断費補助金、耐震改修費補助金の受付を行う。その期間中に毎月1回の無料耐震相談会を行い相談会→補助金の申し込みを並行して行い、耐震化率の向上につながる耐震改修工事を1件でも多くやっていただけるよう啓発を図る。				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	06	01	03
三世帯同居等支援事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	04	01	03
安全安心な住宅の促進(三世帯同居等支援事業)			

実施計画整理番号	
306010301	
総合戦略整理番号	31101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	親世帯または子世帯の一方が転入し、三世帯(親・子・孫)で同居・近居をする世帯に住宅取得等の費用の一部を補助することにより、生活基盤の安定による移住・定住を促進する。また、助成の上乗せ支援による地元企業の利用促進も図る。	住宅取得等の費用の1/2を助成する。 ただし、助成額の上限は次のとおり。 新築・購入は上限80万円(市内業者が行う場合は上限100万円) 増築は上限30万円(市内業者が行う場合は上限50万円)
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
転入者が転出者を上回る社会増を目指し、移住定住促進により、若年層の転出抑制および転入促進を図る。	申請期間:平成29年4月17日～平成30年2月末 周知方法:広報誌、ホームページ、JR電車内へ掲載、自治会回覧、及び関係団体や住宅展示場へ配布	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	10,000	10,000	5,800	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	5,000	5,000	2,396	5,000	0	0	5,000	0	0	5,000	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,000	5,000	3,404	5,000	0	0	5,000	0	0	5,000	0	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	住宅取得等の費用補助	10,000	10,000	5,800	内訳は新築6件、購入1件、増築0件の計7件(市外からの転入者合計は24人)、事業は現状維持していく
	②		0	0	0	
	③		0	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			10,000	10,000	5,800	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

住宅金融支援機構と7月に協定を結び、申請者がフラット35(住宅ローン)と併用することでの金利優遇措置を行った。実績としては新築6件、購入1件、増築0件の計7件(市外からの転入者合計は24人)に対して総額580万円の補助金を交付した。このうち国からの交付金は239.6万円であった。

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010301
3	06	01	03	三世帯同居等支援事業	7	04	01	03	安全安心な住宅の促進(三世帯同居等支援事業)	

29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
支援件数: 7件(内訳は新築6件、購入1件、増築0件)					人口社会増減(転入数-転出数): 3,179人-3,222人=43人減 本事業による市外からの転入者合計は24人				
妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
A:妥当である	移住定住を促進することで、安定的な税収の確保と地域活性の一助となっている		A:有効である	移住定住を促進することで、安定的な税収の確保と地域活性の一助となっている		C:あまり効率的ではない	移住については申請者世帯の長期的な計画を伴うため、制度設計と実績に時間差が出てしまう		
「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
A:実現している	広報誌、ホームページ、JR電車内へ掲載、自治会回覧、及び関係団体や住宅展示場へ配布している		C:実現の余地がない	行政のみでしか実施できない		C:実現の余地がない	行政のみでしか実施できない		
所管による評価とその理由、課題・問題点									
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	移住定住を促進することで、安定的な税収の確保と地域活性の一助となった。(課題)事業執行率は予算規模で58%であったが、財源確保(歳入国費)に不安定な状況が続いている。また、市内と市外の異なるターゲットへの周知、啓発方法に工夫が必要である。								
企画政策課での評価とその理由									
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	住宅取得等の費用助成は移住定住の促進という目的に資する取り組みであり、一定の成果が挙げられたと認められる。今後も様々な方法でPRに努めるものとする。								
政策調整会議での評価とその理由									
庁議における方針									

30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定				
支援件数: 10件					市外からの転入者数: 30人				
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール				
転入者が転出者を上回る社会増を目指し、移住定住促進により、若年層の転出抑制および転入促進を図る					申請期間: 平成30年4月2日~平成31年2月末 周知方法: 広報誌、ホームページ、JR電車内へ掲載、自治会回覧、及び関係団体や住宅展示場へ配布等				

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	01	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

実施計画整理番号	
307020101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(「だれ・何」を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	不法投棄を未然に防止するとともに不法投棄されたごみについては適正に処理することを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 職員及び不法投棄監視委員による随時パトロール ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布 千葉県環境衛生促進協議会への参加
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーを各世帯に配布し、排出方法の徹底に努める。 「ゴミ集積所表示看板」及び「不法投棄防止警告看板」を配布する。 千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 不法投棄監視員(20名)によるパトロールを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーの配布(3月) 「ゴミ集積所表示看板」及び「不法投棄防止警告看板」の配布(通年) 千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加 不法投棄監視員(20名)によるパトロール(通年) 	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,039	2,039	1,832	2,142	0	0	2,039	0	0	2,142	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	444	444	444	444	0	0	444	0	0	444	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	7	7	7	7	0	0	7	0	0	7	0	0
	一般財源	千円	1,588	1,588	1,381	1,691	0	0	1,588	0	0	1,691	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布	224	224	187	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	千葉県環境衛生促進協議会への参加	50	50	50	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	不法投棄物の回収及び処理	859	859	702	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	不法投棄監視員の配置	906	906	893	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,039	2,039	1,832	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーを各世帯に配布し、ごみの排出方法の徹底に努めた。 自治会等に「ゴミ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等を配布した。 千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 不法投棄監視員(20名)による市内パトロールの実施。

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307020101
3	07	02	01	ごみ排出適正化事業	4	02	01	02	ごみ排出適正化事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの実施回数(不法投棄監視員991回) ・不法投棄防止警告看板の配布数(53枚) 				<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視員からの報告件数(84件) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	ごみの排出方法の周知徹底を図るとともに、不法投棄の未然防止に努めた。	A:有効である	不法投棄された家電等は迅速に回収し、適正に処理した。	A:効率的である	不法投棄監視員のパトロールの実施により早期発見、早期対応、未然防止に繋がっている。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	不法投棄監視員には毎月の報告書の提出をお願いし、情報共有している。	A:実現している	市民である不法投棄監視員と連携し取り組んだ。	A:実現している	市民である不法投棄監視員と連携し取り組んだ。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	家電等の小規模な不法投棄は依然として散見されるものの、大規模な不法投棄は発生していないことから、一定の成果をあげているものと考えている。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	前年度と比較して、パトロールの実施回数が47回増加したのに対し、不法投棄の報告件数が2件減少しており、これまでの取り組みが一定の成果を挙げていると認められる。引き続き関係団体と連携して不法投棄の防止に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの実施回数 ・看板の配布数 				<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の報告件数 			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーの配布(3月) ・「ゴミ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等の配布(通年) ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)による市内パトロール(通年) 				<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ収集カレンダーを各世帯に配布し、排出方法の徹底に努める。 ・「ゴミ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等を配布する。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)によるパトロールの実施。 				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	02	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

実施計画整理番号	
307020201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要		
P L A N (計 画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 3Rの推進により循環型社会の形成を目標とする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・リサイクル推進委員会への活動支援 ・市民団体へのリサイクル報奨金の交付によるリサイクルの推進 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売 ・生ごみ処理機の購入費の補助
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	・直営による公共施設等の資源ゴミの回収を行う。 ・自治会等の資源ゴミの回収量に応じて報償金を交付する。 ・リサイクル推進委員会に補助金を交付するなど、活動を支援する。 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売並びに生ごみ処理機購入費補助制度を通じて、生ごみの減量化に努める。	・公共施設等の資源ごみの回収(通年) ・リサイクル報償金の交付(9月、3月) ・リサイクル推進委員会の運営 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売並びに生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	6,909	6,909	5,974	7,082	0	0	7,082	0	0	7,082	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	353	353	288	353	0	0	353	0	0	353	0	0
	一般財源	千円	6,556	6,556	5,686	6,729	0	0	6,729	0	0	6,729	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	資源ゴミの回収	1,570	1,570	1,172	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	資源ゴミ回収報償金の交付	3,527	3,527	3,021	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	リサイクル推進委員会の活動支援	1,116	1,116	1,116	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	生ごみ堆肥化容器の助成販売	426	426	425	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤	生ごみ処理機の購入費助成	270	270	240	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		6,909	6,909	5,974	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・直営による公共施設等の資源ごみの回収を行った。(通年) ・自治会等の資源ごみの回収量に応じて報償金を交付した。(9月・3月) ・リサイクル推進委員会に補助金を交付するなど、活動を支援した。 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助制度を実施することで生ごみの減量化に努めた。(通年)

D
O
(
実
施
)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	02	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

整理番号
307020201

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル報償金の交付件数(261件) リサイクル推進委員会への助成(1,116千円) 		<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみの回収量(3,743t)前年比-163t 生ごみ堆肥化容器の助成販売数(73基)前年比+6基 生ごみ処理機購入費補助件数(16基)前年比+5基 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 市民団体等の理解と協力のもと、リサイクルの推進が図られた。		B:やや有効である スーパー等による民間のリサイクル回収ルートが普及したことなどにより収集量が減少傾向にある。		A:効率的である 生ごみの減量化にはごみ処理機や堆肥化容器の活用が有効な手段である。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる 広報紙や市ウェブサイト等で生ごみ処理機や堆肥化容器の周知を図っているが、今後更なる普及啓発が必要である。		A:実現している リサイクル推進委員会と連携しながら取り組んだ。		A:実現している リサイクル推進委員会と連携しながら取り組んだ。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		循環型社会の形成を目指して「3R」の推進に努めるとともに、リサイクル推進委員会との連携を通じて地域のリサイクル向上に努めた。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		いずれの取り組みも、ごみの減量や再資源化等に資するものとして一定の成果が挙げられたものと認められる。今後も、関係団体と連携して3Rの普及啓発に努めるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル報償金の交付件数 リサイクル推進委員会への助成 		<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみ回収量 生ごみ堆肥化容器の助成販売数 生ごみ処理機購入費補助件数 	
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等の資源ごみの回収(通年) リサイクル報償金の交付(9月・3月) リサイクル推進委員会の運営 生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年) 		<ul style="list-style-type: none"> 直営による公共施設等の資源ごみの回収 自治会等の資源ごみ回収量に応じた報償金の交付 リサイクル推進委員会に補助金を交付するなど活動の支援 生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助制度を実施し生ごみの減量化に努める。 		

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	07	04	01
美化推進事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
4	01	06	01
美化推進事業			

実施計画整理番号	
307040101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要									
PLAN (計画)	<table border="1"> <tr> <th>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</th> <th>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</th> </tr> <tr> <td>きれいで住みよい環境づくりを進めるため、啓発活動を通して、市民の協力のもと美化活動を推進する。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進 空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 自治会への草刈機の貸出 ポイ捨て防止条例に基づく啓発 広報紙、パンフレット等による啓発活動 ゴミゼロ運動の実施 </td> </tr> <tr> <th>平成29年度の具体的な目標</th> <th>平成29年度スケジュール</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動に対しゴミ袋の配布や回収を行う。 空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 自治会等に草刈機の適切な貸し出し。 ポイ捨て防止条例に基づく啓発。(市広報、桜まつり、七夕まつり) ゴミゼロ運動実施(5月28日) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進(通年) 空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) 自治会への草刈機の貸し出し(通年) ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ゴミゼロ運動(5月) </td> </tr> </table>	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)	きれいで住みよい環境づくりを進めるため、啓発活動を通して、市民の協力のもと美化活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進 空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 自治会への草刈機の貸出 ポイ捨て防止条例に基づく啓発 広報紙、パンフレット等による啓発活動 ゴミゼロ運動の実施 	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動に対しゴミ袋の配布や回収を行う。 空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 自治会等に草刈機の適切な貸し出し。 ポイ捨て防止条例に基づく啓発。(市広報、桜まつり、七夕まつり) ゴミゼロ運動実施(5月28日) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進(通年) 空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) 自治会への草刈機の貸し出し(通年) ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ゴミゼロ運動(5月)
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)							
	きれいで住みよい環境づくりを進めるため、啓発活動を通して、市民の協力のもと美化活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進 空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 自治会への草刈機の貸出 ポイ捨て防止条例に基づく啓発 広報紙、パンフレット等による啓発活動 ゴミゼロ運動の実施 							
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール							
<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動に対しゴミ袋の配布や回収を行う。 空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 自治会等に草刈機の適切な貸し出し。 ポイ捨て防止条例に基づく啓発。(市広報、桜まつり、七夕まつり) ゴミゼロ運動実施(5月28日) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進(通年) 空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) 自治会への草刈機の貸し出し(通年) ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ゴミゼロ運動(5月) 								

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	893	893	884	893	0	0	893	0	0	893	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	893	893	884	893	0	0	893	0	0	893	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域の環境美化活動の推進	149	149	194	概ね達成できた。引き続き推進を図る。
②	空き地に係る雑草等の除去に関する指導	8	8	9	概ね達成できた。引き続き指導を行う。
③	自治会への草刈機の貸し出し	95	95	93	概ね達成できた。引き続き貸し出しを行う。
④	ポイ捨て防止の啓発	67	67	55	概ね達成できた。引き続き啓発を行う。
⑤	ゴミゼロ運動の実施	574	574	533	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		893	893	884	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 地域の環境美化を推進するため、自治会等の地域清掃に対しゴミ袋の配布や回収を行った。
- 空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行った。(指導件数225件)
- 地域の環境美化を推進するため、自治会等に草刈機の貸し出しを行った。(延べ140台)
- ポイ捨て防止条例に基づく啓発として、桜まつりや七夕まつり会場内において啓発物品の配布を行った。
- 5月28日にゴミゼロ運動を実施した。(参加者数12,186人、回収量17.62t)

DO
(実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307040101
3	07	04	01	美化推進事業	4	01	06	01	美化推進事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発回数(街頭啓発2回) ・ゴミゼロ運動の開催回数(1回) ・草刈機貸出回数(140台) 					<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数(ゴミゼロ運動市内全域12,186人)前年比-312人 ・ごみ回収量(ゴミゼロ運動17.62t)前年比-1.14t ・地域清掃等の実施数(174回) 					
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である	市民の協力のもと美化活動の推進に努めた。		A:有効である	ゴミゼロ運動や自主的な清掃活動の奨励を図り、地域ぐるみの美化活動を推進した。		B:やや効率的である	ポイ捨て防止は行為者の意識改革が必要であり、根気強く取り組む必要がある。			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	ゴミゼロ運動では、自治会等各種団体や参加企業と情報を共有している。		A:実現している	ゴミゼロ運動には市内全域で12,186人の参加があった。		A:実現している	地域清掃時にゴミ袋の提供及び回収を行い、市民との協働による環境美化を図った。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民との協働による美化活動の推進という観点からは一定の成果をあげたと考えている。ポイ捨て防止及び空き地の雑草除去については引き続き啓発に努める。										
企画政策課での評価とその理由											
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	いずれの取り組みも、美化活動の推進に資するものとして一定の成果が挙げられたものと認められる。引き続き美化意識の啓発に努め、市民との協働によって環境美化の推進を図るものとする。										
政策調整会議での評価とその理由											
庁議における方針											

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発回数 ・ゴミゼロ運動の開催回数 ・草刈機貸出回数 					<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 ・地域清掃等の実施数 ・ゴミ回収量 				
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動の推進(通年) ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) ・自治会への草刈機の貸し出し(通年) ・ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ・ゴミゼロ運動(5月) 					<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動に対しゴミ袋の提供や回収を行う。 ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 ・自治会等への草刈機の適切な貸し出し。 ・ゴミゼロ運動実施(5月27日) 					

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

実施計画整理番号	
307040102	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	自転車歩行者道路(豊田川、一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除、自治会等への消毒機の貸出や衛生指導を行い、適正な環境づくりを目標とする。	・自転車歩行者道路(豊田川、一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除 ・自治会等への消毒機の貸出 ・公共施設の蜂の巣駆除
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回実施する。 ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行う。 ・公共施設の蜂の巣駆除を実施する。	・自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月・9月) ・自治会等への消毒機の貸し出し(通年) ・公共施設の蜂の巣駆除(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	722	722	707	722	0	0	722	0	0	722	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	722	722	707	722	0	0	722	0	0	722	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除	648	648	648	害虫の発生する5月と9月に消毒を実施し、生活環境の保全を図った。引き続き実施する。
②	自治会等への消毒機の貸出	54	54	39	概ね達成できた。引き続き貸し出しを行う。
③	公共施設の蜂の巣駆除	20	20	20	概ね達成できた。引き続き実施する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		722	722	707	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫防除を年2回(5月、9月)実施した。 ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行った。(通年) ・自転車歩行者道路脇の蜂の巣の駆除(1件)を実施した。	

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307040102
3	07	04	01	害虫防除対策事業	4	01	05	02	害虫防除対策事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・害虫の駆除回数(2回) ・消毒機の貸し出し数(延べ29台、7団体) 				害虫駆除実施箇所数(酒盛橋から日進橋区間及び大芝地先)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	豊田川、一宮川沿いの桜の木は、観光資源として引き続き市が管理していく必要がある。	A:有効である	害虫の発生を抑制し、生活環境の保全を図る。	A:効率的である	害虫駆除は業務委託により効率的に行われている。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	桜の害虫駆除については、自治会回覧により周辺住民への周知を図った。	C:実現の余地がない	桜の害虫駆除は、特殊作業のため業者委託しており、市民参加の機会は提供していない。	A:実現している	自治会等に消毒機の貸し出しを行うことにより、協働による生活環境の保全に努めた。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	害虫の発生を抑制し、十分な成果をあげることができた。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	いずれの取り組みも害虫防除により適切な環境を作るという目的に資するものであり、一定の成果が挙げられたものと認められる。引き続き事業を継続し生活環境の保全を図るものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・害虫の駆除回数 ・消毒機の貸し出し数 				<ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所数 			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月・9月) ・自治会等への消毒機の貸し出し(通年) ・公共施設の蜂の巣の駆除(通年) 				<ul style="list-style-type: none"> ・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回実施する。 ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行う。 ・公共施設の蜂の巣の駆除を実施する。 				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	05	01	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

実施計画整理番号	
307050101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	水質汚濁、土壌汚染などの公害防止と発生時の迅速な対応ができるよう、監視機器の整備を図って調査を実施し、また事業者の自主監視を推進するなど監視体制の充実に努めるとともに、自動車交通騒音の常時監視を行うことにより地域の騒音曝露状況を把握する。	公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため、検査、監視する。騒音規制法第18条第1項に基づき、茂原市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施した。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
水質検査・土壌検査・自動車騒音の常時監視を実施する。	河川水水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,066	1,011	819	1,066	0	0	1,066	0	0	1,066	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,066	1,011	819	1,066	0	0	1,066	0	0	1,066	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	水質・土壌検査の実施	742	687	495	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	騒音常時監視測定の実施	324	324	324	概ね達成できた。引き続き実施する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,066	1,011	819	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託 494,575円 河川水19ヶ所(年1~3回)、地下水25ヶ所、工場排水4ヶ所BODが2ヶ所で超過しているほかは環境基準を充たしている。
 道路交通騒音常時監視測定委託 324,000円 一般国道128号区間番号17110(茂原市千代田町)評価区間全体、非近接空間及び近接空間で約10割の住居等が昼間・夜間ともに環境基準以下。環境基準値 昼間70dB 夜間65dB 測定値 昼間67dB 夜間59dB

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	05	01	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

整理番号
307050101

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託 河川水19ヶ所(年1~3回)、湖沼水1ヶ所、地下水25ヶ所、工場排水4ヶ所 道路交通騒音常時監視測定委託 一般国道128号区間番号17110(茂原市千代田町)環境基準値 昼間70dB 夜間65dB 測定値 昼間67dB 夜間59dB		水質検査についてはBODが2ヶ所で超過しているほかは環境基準を充たしている。 一般国道128号区間番号17110(茂原市千代田町)評価区間全体、非近接空間及び近接空間で約10割の住居等が昼間・夜間ともに環境基準以下。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため検査監視をした。主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施した。	A:有効である	河川水質検査、地下水汚染の継続監視及び自動車騒音の常時監視により現状把握及び公害の未然発生防止に努めた。	A:効率的である	河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託、道路交通騒音常時監視測定委託により効率的に行った。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	河川水質結果については、広報及びホームページにて周知。道路交通騒音監視結果はホームページにて周知。	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	いずれの取組も、公害の発生と発生時の迅速な対処という目的に資するものであり、ある程度の成果があったものと認められる。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	水質検査及び騒音常時監視測定を行い、結果を広報等で公表することで、公害の発生防止と市民の環境保全意識の向上に一定の成果が挙げられたものと認められる。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	調査の実施回数等	調査の実施結果		
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
河川水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月		水質検査・土壌検査・自動車騒音の常時監視を実施する。		

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	自主防災組織支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	自主防災組織支援事業

実施計画整理番号	
308020101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	自主防災組織に支援を行い、地域防災力の向上を図る。	新設自主防災会設立前には説明会を実施し、設立時には資機材を貸与する。既存自主防災会には、追加資機材の補助を行う。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織3団体の新規設立 自主防災組織設立後に活動していない組織の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長連合会総会において、自主防災組織設立案内チラシを配布(5月) 既存自主防災組織の資機材整備に対する補助事業(7月～) リーダー研修会の実施(2月) 新設した自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与(常時) 出前講座の受付・実施(常時)

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	5,694	5,694	3,637	5,694	0	0	4,854	0	0	792	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	2,650	2,650	1,610	2,650	0	0	2,230	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	394	394	394	394	0	0	394	0	0	132	0	0
	一般財源	千円	2,650	2,650	1,633	2,650	0	0	2,230	0	0	660	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自治会への設立説明	0	0	0	自治会長連合会の総会時や出前講座などで自主防災組織の啓発を行った。今後も周知を行っていく。
②	防災資機材及び個別受信機の購入	2,194	2,194	1,883	防災資機材は7団体に貸与し、今後も新設団体に貸与する。戸別受信機は9台購入し、7台は新設団体に貸与した。その他は、故障した場合の貸出用として保管。今後も新設団体に貸与する。
③	追加資機材購入への補助金	3,100	3,100	1,354	9団体に補助金を交付した。今後も補助する。
④	リーダー育成研修会	400	400	400	自主防災組織のリーダー等を対象に、リーダー研修会を開催し88名が参加した。今後も地域防災力の向上を目的にリーダー研修会を実施する。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		5,694	5,694	3,637	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 新設した自主防災組織に資機材及び戸別受信機を貸与した。 出前講座を実施し、自主防災組織設立及び防災対策についての啓発を行った。 自主防災組織のリーダーを対象にリーダー研修会を実施した。 既存自主防災組織の資機材整備に対する補助金の交付を行った。

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020101
3	08	02	01	自主防災組織支援事業	2	01	14	02	自主防災組織支援事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	防災資機材、戸別受信機を7団体に貸与 職員出前講座及び地域の防災訓練への支援を実施				自主防災組織が82団体になり、カバー率については57.84%になった。 職員出前講座を13回実施した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	防災対策は市の責務である。	A:有効である	防災活動に必要な資機材と情報伝達手段である戸別受信機の貸与は必須である。	C:あまり効率的ではない	各自治会等の設立意欲によるため。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	自治会、自治会長連合会、ホームページにて情報発信を行っている。	A:実現している	市民が自ら考え、立ち上げるものであるため。	A:実現している	市が資機材等の貸与や補助を行い、市民が自主防災組織を設立している。		
所管による評価とその理由、課題・問題点								
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	新規の自主防災組織が7団体設立した。また、既存自主防災組織の資機材整備に対する補助金交付事業を9団体が活用し、資機材の整備を行った。これにより地域防災力が向上した。問題点としては、自主防災組織の設立は、住民の防災意識によるところが大きいことである。							
企画政策課での評価とその理由								
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	当初の目標であった新規の自主防災団体の設立3団体に対して、7団体を新規設立し、当初の目標を達成していると考えられるが、既存自主防災組織への資機材整備の執行率が低いことから、周知、啓発に努めるとともに、組織活動の活性化を図るものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材、戸別受信機の貸与数 ・職員出前講座の実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織カバー率 			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織5団体の新規設立 ・自主防災組織設立に活動を行えていない組織の活性化 				<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長連合会総会において、自主防災組織設立案内チラシを配布(5月) ・既存自主防災組織の資機材整備に対する補助事業(8月~) ・リーダー研修会の実施(2月) ・新設した自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与(常時) ・出前講座の実施(常時) 				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業

実施計画整理番号	
308020102	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	<p>茂原市避難行動要支援者避難支援プラン【全体計画】に基づき、避難行動要支援者の避難支援、安否確認等を実施するための基礎となる避難行動要支援者名簿を作成する。また、避難支援の実施に必要な限度で名簿を避難支援等関係者に提供する。避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。</p>	<p>避難行動要支援者名簿を作成するために関係機関から情報収集を行う。適切な情報管理に努める。</p>
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
<p>要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新する。 避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に適切に提供する。 避難支援登録制度を活用して避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。</p>	<p>避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。 避難支援登録制度を活用して個別計画を随時作成する。</p>	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	195	195	194	195	0	0	195	0	0	195	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	195	195	194	195	0	0	195	0	0	195	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	避難行動要支援者名簿の更新	195	195	194	避難行動要支援者名簿の更新を適切に実施できた。今後も継続して実施する必要がある。
	②		0	0	0	
	③		0	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			195	195	194	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行った。

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020102
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業	3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行った。				要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、災害に備えた。茂原市避難行動要支援者避難支援プラン【全体計画】の修正を行った。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	自治体が関与すべき事業であり、総合計画における目標に合致する。	A:有効である	要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成するものである。また、類似の目的を持つ事業はない。	A:効率的である	住民基本台帳の情報及び関係各課の保有している情報を活用することは有効である。システムは更新を検討する必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に提供することで情報の共有ができる。個別計画についても同様である。	B:実現に向けて取り組んでいる	災害時の地域の支え合いには、避難支援等関係者との調整が必要である。	B:実現に向けて取り組んでいる	災害時の地域の支え合いには、避難支援等関係者との調整が必要である。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を定期的に更新することで、災害に備えることができた。今後は、避難行動要支援者名簿の情報管理を徹底していく必要がある。また、避難支援等関係者との連携を図るための調整を進めて行く必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	避難行動要支援者の名簿を更新及び茂原市避難行動要支援者避難支援プランの修正を行ったことにより、当初の目的は達成されたと認められる。引き続き定期的なデータ更新を行うものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。				要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、災害に備える。			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新する。避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に適切に提供する。避難支援登録制度を活用して避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。				避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。避難支援登録制度を活用して個別計画を随時作成する。				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	08	02	02
防災行政無線施設事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	14	01
防災行政無線施設事業			

実施計画整理番号	
308020201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	災害発生時における市民への迅速かつ確かな情報伝達手段として整備している防災行政無線屋外子局のデジタル化及び新設を行い、機能向上と難聴地区の解消を図る。	老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、難聴地区解消のための新設を行う。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
・新設及び既設を合わせ19局の子局デジタル化を行う。	工事対象子局及び新設子局 ・7月から8月 現地調査 ・11月 工事開始 ・翌年3月 工事完了	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	77,201	77,201	77,199	77,201	0	0	77,201	0	0	77,201	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	77,200	77,200	77,100	77,200	0	0	77,200	0	0	77,200	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1	1	99	1	0	0	1	0	0	1	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防災行政無線屋外子局のデジタル化及び新設	77,201	77,201	77,199	計画どおり19箇所のデジタル化工事を実施した。今後も市内全てのデジタル化を進める。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		77,201	77,201	77,199	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・本納川間集会所付近の難聴地域に1局新設した。 ・既存子局18局(うち2局は移設)をデジタル化を行った。 ・市内防災行政無線子局数が154局となり、デジタル化率が61.0%に上昇した

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020201
3	08	02	02	防災行政無線施設事業	2	01	14	01	防災行政無線施設事業	

29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
2局を新設及び既存17局を更新し、計画数19局を達成					防災行政無線デジタル化局数の増加により、デジタル化率61.0%(154局中94局)に上昇。 難聴地域の一部解消。				
妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
A:妥当である	市の防災行政無線整備は、市の責務である。		A:有効である	防災情報等の伝達に有効な施設であり、新設により難聴地域対策も行っている。		C:あまり効率的ではない	デジタル化による工事費がかかり、子局増設により維持管理費が増加するが、平常時には、あまり多用する施設ではない。		
「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
A:実現している	防災行政無線デジタル化工事に関係する自治会に現地調査前と工事前に自治会回覧を行っている。		A:実現している	住民からの要望による新設・スピーカー方向の調整等を行っている。		C:実現の余地がない			
所管による評価とその理由、課題・問題点									
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	デジタル化を行うことで施設の老朽化改善、音質の向上が図られた。子局の新設により一部難聴地域の解消が進められた。一方で、難聴地域の解消及び住宅の遮音性の向上による屋内への情報伝達方法が課題となっているため、防災行政無線を補完する安全・安心メールなど他の伝達手段の併用が必要である。								
企画政策課での評価とその理由									
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	19局のデジタル工事が完了し、当初の計画を達成している。今後も子局の新設及び更新を計画的に行うものとする。								
政策調整会議での評価とその理由									
庁議における方針									

A C T (改 善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・既存屋外子局のデジタル化による更新18局 ・難聴地域への屋外子局新設1局 					<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化率の向上 ・難聴地域の解消 				
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・新設及び既存屋外子局のデジタル化を合わせ19局の子局デジタル化を行う。 					既存屋外子局のデジタル化工事及び新設子局 <ul style="list-style-type: none"> ・5月から6月 現地調査 ・10月 工事開始 ・翌年2月 工事完了 					

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	災害非常用対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	03	災害非常用対策事業

実施計画整理番号	
308020202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
P L A N (計 画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 市民の被災の予防や被害の軽減を図る。
	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 地域防災訓練の実施、防災気象情報システムの運用、災害備蓄品の整備、各種計画の策定、改定などの災害対策事業を行い、被害の軽減を図る。
平成29年度の具体的な目標	
・災害対策本部の機能を強化し災害対応力の向上を図る。 ・地域防災訓練を実施し地域住民の災害に対する意識や行動力の向上を図る。	
平成29年度スケジュール	
・備蓄食料の更新・拡充(8月～11月) ・災害用備蓄品の購入(8月～12月) ・地域防災訓練(二宮地区)の開催(10月) ・防災メール、自動電話サービスの加入促進(常時) ・気象情報システムの運用(常時)	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	12,375	12,375	12,027	12,182	0	0	12,701	0	0	8,612	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,218	2,218	2,159	1,044	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,157	10,157	9,868	11,138	0	0	12,701	0	0	8,612	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防災備蓄品の整備	7,125	7,125	6,911	防災備蓄倉庫に組立式トイレ等を計画どおり整備した。今後も継続して不足する物資を整備していく。消費期限を備蓄食料等を更新した。今後も消費期限等に合わせ更新していく。
②	地域防災訓練の実施	120	120	71	市の防災訓練及び地域での訓練に適用可能な保険に加入。二宮地区で防災訓練を実施した。今後も、市内各地域の防災訓練を実施する。
③	もばら安全安心メール配信	397	397	321	台風等の災害情報の提供を行った。随時情報を提供していく。
④	災害気象情報システムの運用	3,834	3,834	3,834	防災気象情報を取得し、災害等への対応を行った。今後もより精度の高い情報の取得に努める。
⑤	地域防災計画の策定	683	683	674	会議を開催し、計画を見直した。今後も随時改定を行っていく。
⑥	国民保護計画の改定	216	216	216	会議を開催し、計画を見直した。今後も随時改定を行っていく。
⑦	避難所看板の改修	0	0	0	
⑧	防災マップの更新	0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		12,375	12,375	12,027	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
<ul style="list-style-type: none"> 組立式トイレ及び簡易トイレを避難所に整備 消費期限を迎える備蓄食料等の更新 防災気象情報システム委託 防災メールの配信 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災訓練の実施

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020202
3	08	02	02	災害非常用対策事業	2	01	14	03	災害非常用対策事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の更新(11,420食) ・地域防災訓練の開催(二宮地区) ・自動電話サービスの加入促進について、広報等により周知 				<ul style="list-style-type: none"> ・食料備蓄率60.5%(人口の15%が避難し、1日2食3日分で計算した場合) ・地域防災訓練参加者: 482人 ・自動電話サービス加入者数80人(5人増加) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	防災体制の整備と備蓄は、市の責務である。	A:有効である	備蓄品の期限管理、本部体制の整備は災害対策上必要であり有効である。	B:やや効率的である	備蓄品等の備蓄率向上を図ると更新等の経費が増加するとともに、保管場所の問題も発生する。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	ホームページでの掲載を行っている。	A:実現している	備蓄品の更新、備蓄品の増加については参加の余地はないが、防災訓練については自治会と事前に協議している。	B:実現に向けて取り組んでいる	防災訓練においては、自治会や防災関係機関等と共同に取り組んでいる。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	食料やトイレなどの備蓄品の整備及び更新について、計画どおり実施した。地域防災訓練については、二宮地区の指定避難所4会場で参加者482人で実施した。また、災害時の情報伝達手段の多様化の1つとしての安全・安心メールや自動電話サービスについても更なる周知を行っていく。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	備蓄品の整備及び更新について、計画どおり実施しており、当初の目標は達成している。今後も整備計画に基づき、備蓄品の整備に努めるものとする。また、地域防災訓練を実施し地域住民の災害に対する意識や行動力の向上を図るものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の更新(13,560食) ・住民参加型地域防災訓練の実施(豊岡地区) ・防災メール、自動電話サービスの加入促進 				<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の備蓄率 ・地域防災訓練の開催及び参加者数 ・防災メール、自動電話サービスの加入者数 			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の機能を強化し災害対応力の向上を図る。 ・食料など災害用備蓄品の充実を図る。 ・住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域住民の災害に対する意識や行動力の向上を図る。 				<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部事務局の設置訓練(5月) ・気象情報システムの運用(常時) ・備蓄食料の更新・拡充(8月～11月) ・災害用備蓄品の購入(8月～12月) ・地域防災訓練(豊岡地区)の開催(9月) ・防災メール、自動電話サービスの加入促進(常時) 				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	広域医療救護所整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	01	04	広域医療救護所整備助成事業

実施計画整理番号	
308020203	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	長生管内7市町村合同の救護所を指定医療機関に設置し、広域災害発災時に被災者のトリアージと応急医療救護を行う。	広域医療救護所の設置にあたり、指定医療機関に対し、市町村の負担割合(均等割20%、人口割80%)に応じた整備費補助を実施する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
公立長生病院と「大規模災害時における広域医療救護所に関する協定」を締結し、平成29年度・30年度の2ヵ年で広域医療救護所の整備を行う。	平成29年4月1日に「大規模災害時における広域医療救護所に関する協定」を締結 平成29年度中に広域医療救護所の「資器材」の整備を完了する。	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	15,757	15,757	15,757	12,669	0	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	15,757	15,757	15,757	12,669	0	0	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	広域医療救護所の整備費(公立長生病院分)	15,757	15,757	15,757	公立長生病院に資機材等を整備した。平成30年度は医薬品等の整備を行う。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		15,757	15,757	15,757	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

広域医療救護所開設のため、公立長生病院の整備を行った。
公立長生病院は2年度に分けて整備する予定であり、平成29年度は資機材等を整備した。
平成30年度は医薬品等を整備する予定である。

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020203
3	08	02	02	広域医療救護所整備事業	4	01	01	04	広域医療救護所整備助成事業	

29年度活動指標(アウトプット)の達成状況	29年度成果指標(アウトカム)の達成状況
広域医療救護所開設のため整備を実施した。	公立長生病院に資機材等を整備した。

妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由
A:妥当である 災害対策基本法に基づく医療救護活動の必要が生じた場合、迅速かつ効果的な活動を行う。	A:有効である 傷病者が集中する大規模災害発災後の72時間を基本とし、応急措置を行う。	A:効率的である 被災市町村のうち災害救助法の適用となった市町村が医療救護所を設置する。

「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由
B:実現に向けて取り組んでいる 医療救護所の整備完了後、広報・HP等により定期的に周知を行う。	A:実現している 長生管内7市町村協働により実施している。	A:実現している 長生管内7市町村で構成する災害医療分科会及び保健課長会議、並びに管理者会議にて協議している。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	広域医療救護所開設のため、公立長生病院の整備を行った。 公立長生病院は2年度に分けて整備する予定であり、平成29年度は資機材等を整備した。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	公立長生病院の広域医療救護所の整備を行い、当初の目的を達成したと認められる。引き続き、計画に基づき広域医療救護所の整備を行うものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

30年度活動指標(アウトプット)の設定	30年度成果指標(アウトカム)の設定
広域医療救護所開設のための整備を行う。	公立長生病院の整備を行う。

30年度における具体的な目標	30年度における事務事業スケジュール
公立長生病院に医薬品等を整備する。	年度内に医薬品を整備し、公立長生病院分の整備を完了する。

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	02	防犯対策事業

実施計画整理番号	
309010101	
総合戦略 整理番号	42103

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
	市民が安心して暮らせるよう、各防犯団体と協力し、犯罪の防止と市民の防犯意識の高揚を図る。	防犯パトロール活動の実施 防犯関係団体への活動支援
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
自主防犯団体への活動支援 犯罪認知件数の減少	・年間を通じた防犯パトロール ・関係団体との連携と助成 ・広報啓発活動	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	4,179	4,179	3,890	4,578	0	0	4,487	0	0	4,585	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	150	0	0	150	0	0	150	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,179	4,179	3,890	4,428	0	0	4,337	0	0	4,435	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自主防犯団体活動支援	144	144	137	概ね達成できた。引き続き活動する。
②	防犯パトロール活動	2,046	2,046	1,764	業者委託及び市職員等による防犯パトロールを行った
③	防犯活動団体への補助金・負担金交付	1,989	1,989	1,989	2団体に対して助成金を交付した。引き続き活動する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		4,179	4,179	3,890	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールの実施(安全安心パトロール業務委託、市防犯組合、自主防犯団体、市職員等) ・関係団体(茂原警察署、茂原警察署管内防犯組合連合会、茂原市防犯組合)との連携と助成 ・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん参加)

D
O
(
実
施
)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	02	防犯対策事業

整理番号
309010101

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
	・自主防犯組織の助成(傷害保険1,138人:137,040円)・防犯パトロール(安全安心パトロール:月10回1,611,360円、市防犯組合:10団体のべ128回、自主防犯団体38団体4,728回)・関係団体への助成(茂原警察署管内防犯組合連合会1,779,000円、茂原市防犯組合210,000円)・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん参加 アスマ等8回)		犯罪認知件数の減少 803件(前年比-235件)	
	妥当性の評価とその理由 A:妥当である 安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。		有効性の評価とその理由 A:有効である 犯罪認知件数が、減少傾向であるため。	
			効率性の評価とその理由 A:効率的である 引き続き、犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。	
	「情報の共有」の状況とその理由 A:実現している 関係団体との連携や助成、広報啓発活動を行った。		「参加」の状況とその理由 A:実現している 自主防犯組織への助成等、関係団体との連携を通じて取り組みを行った。	
			「協働」の状況とその理由 A:実現している 関係団体との連携を通じて、取り組みを行った。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 犯罪認知件数が減少し、十分な成果を挙げる事ができた。課題として、市内各地域の犯罪をなくすため、地域住民が一体となった防犯体制の整備や環境づくりを、より一層すすめる必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 各種防犯対策の取り組みにより、犯罪認知件数が前年比△235件になったことから、十分な成果を挙げる事ができたと認められる。今後も各防犯関係団体との連携を密にし、犯罪防止及び防犯意識、啓発に努めるものとする。			
	政策調整会議での評価とその理由			
	庁議における方針			

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・防犯関係団体との連携と助成 ・防犯パトロール(業者委託、市防犯組合、自主防犯団体、市職員等) ・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん)等の広報啓発活動 ・茂原警察署管内暴力団排除対策協議会開催		・犯罪認知件数の減少	
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
・年間を通じた防犯パトロール。 ・関係団体との連携と助成。 ・広報啓発活動。		・年間を通じた防犯パトロール		

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯ボックス事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	05	防犯ボックス事業

実施計画整理番号	
309010102	
総合戦略 整理番号	42103

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
	<p>生活の安全を確保し、住民が安心して暮らせる社会をめざし、防犯ボックスを核に警察官OBを非常勤職員として採用し巡回パトロールや、犯罪多発地域の重点警戒、市民への啓発活動等を実施することで、自分たちの地域は自分たちで守るという地域住民の防犯に対する意識の醸成を図る。</p>	<p>平成27年中の人口千人当たりの刑法犯認知件数について、本市は千葉県内ワースト3位(12.6件/千人)となっていることから、地域の自主的な防犯力向上のために日常的に助言を行える体制の確保や防犯関係団体と連携したパトロールを実施する。</p>
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
<p>平成30年4月開所に向けた、防犯ボックスの設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察 ・県へ警察官OB(防犯ボックス勤務員)の紹介を依頼 ・県主催防犯ボックス運営連絡会議への出席 ・防犯ボックス貸借契約、整備工事、備品購入 ・茂原市防犯ボックス事業実施要領等の作成 ・勤務員の選定、採用 ・県補助金の申請 	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,720	2,720	2,540	9,631	0	0	9,631	0	0	9,631	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,489	2,489	2,406	6,000	0	0	6,000	0	0	6,000	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	231	231	134	3,631	0	0	3,631	0	0	3,631	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防犯ボックス整備	2,720	2,720	2,540	平成30年4月の開所を迎えられるよう、施設の整備を行なった。
②	防犯ボックス運営	0	0	0	県補助金を活用し、運営を行う。
③	防犯啓発活動	0	0	0	「防犯ボックスだより」を作成し市民に周知する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,720	2,720	2,540	

<p>平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボックスの設置・整備 ・勤務員の採用 ・防犯ボックス用備品購入

D
O
(
実
施
)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				予算科目				整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名				309010102
3	09	01	01	防犯ボックス事業				
款	項	目	事	事業名				
2	01	13	05	防犯ボックス事業				

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	防犯ボックスの設置・整備(茂原ショッピングプラザ アスモ、無償貸借) 勤務員の採用(千葉県警OB3名を非常勤職員として) 防犯ボックス用備品購入(原動機付自転車等)		平成30年4月1日 開所			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	判断不可 (平成30年4月1日開所の為)		判断不可 (平成30年4月1日開所の為)		判断不可 (平成30年4月1日開所の為)	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	広報平成30年4月1日号にて市民に周知。 平成29年11月26日茂原市自治会長連合会・長生都市連合自治会連絡会共催の研修会及び平成30年3月19日茂原市防犯組合理事会において各支部長に対し実施。	その他	判断不可 (平成30年4月1日開所の為)	その他	判断不可 (平成30年4月1日開所の為)
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	遅滞なく、平成30年4月1日に開所することができた。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の計画通り防犯ボックスの設置を平成30年4月に開始できたことにより、目的は達成できていると認められる。今後は防犯ボックスを活用し、関係団体と協力し、地域住民の防犯意識の醸成を図るものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯ボックス事業(県補助)の調整・協議 防犯関係団体との連携した合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 防犯関係団体に対する指導・助言 		<ul style="list-style-type: none"> 犯罪認知件数の減少 	
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> 防犯ボックス事業の調整・協議 年間を通じた合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 広報啓発活動 防犯関係団体との連携 		<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 広報啓発活動 防犯関係団体との連携 		

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防犯設備設置・管理費

実施計画整理番号	
309010201	
総合戦略 整理番号	42103

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
市民が安全で安心して暮らせるよう市内に防犯設備の設置及び維持管理を行う。	防犯灯の設置、維持管理 防犯カメラの設置、維持管理 自治会所有の防犯灯への維持管理補助 青パトドライブレコーダーの設置、維持管理
平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
・犯罪認知件数の減少 ・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・防犯カメラの設置 ・青色回転灯装備車ドライブレコーダー設置	・防犯灯、防犯カメラの維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成 ・青色回転灯装備車ドライブレコーダー設置

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	29,950	34,197	33,056	29,735	0	0	29,736	0	0	29,737	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	174	1,679	1,679	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	29,784	32,518	31,377	29,735	0	0	29,736	0	0	29,737	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防犯灯の設置・維持管理	27,503	27,503	27,139	38灯の新規設置を行い、既存箇所の継続管理を行った。
②	防犯カメラの設置・維持管理	232	4,261	3,634	7台を新規設置した。適切な維持管理に努める。
③	自治会所有の防犯灯への維持管理補助	1,875	1,875	1,726	73自治会に、適切に補助金を交付した。引き続き補助する。
④	青パトドライブレコーダーの設置、維持管理	348	558	557	21台に設置を行った。引き続き補助する。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		29,958	34,197	33,056	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・防犯灯の設置、移管、維持管理 ・自治会所有防犯灯への維持管理の助成 ・防犯カメラの維持管理・新設 ・青色回転灯装備車ドライブレコーダー設置

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	309010201
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費	2	01	13	01	防犯設備設置・管理費	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・防犯灯の維持管理数(8,060灯)・防犯灯の設置数(38灯)、自治会から市への移管数:42灯、事業者:10灯)・自治会への防犯灯維持管理費の助成(73自治会・1,195灯・1,726,017円)・防犯カメラの維持管理数(維持管理34台)・青色回転灯装備車ドライブレコーダー設置(21台557,172円:内県補助278,586円)				犯罪認知件数の減少 803件(前年比-235件)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。	A:有効である	犯罪認知件数の減少等、取り組みの成果を得た。	A:効率的である	引き続き犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	市民に対して関係機関と連携して提供した。	A:実現している	防犯灯の設置や自治会の防犯灯管理費の助成等の取り組みを行った。	A:実現している	防犯灯設置や自治会への助成等を通じて取り組みを行った。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	犯罪認知件数が減少したため、十分な成果を挙げることができたと捉えている。課題として、現状の防犯設備を維持管理しながら、より市全域で充実した防犯設備の適正な配置を検討する必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種防犯設備の設置により犯罪認知件数の減少に寄与したものと認められる。今後も防犯施設の計画的な設置及び適切な管理を継続することにより、安全安心なまちづくりに努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成 ・防犯カメラの維持管理				犯罪認知件数の減少			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
・犯罪認知件数の減少 ・防犯灯、防犯カメラの維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成				・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・防犯カメラの設置 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	01	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	交通安全対策事業

実施計画整理番号	
310010101	
総合戦略 整理番号	42104

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。	活動内容(目的を達成するために何をを行うか) 交通安全運動啓発 各世代における交通安全教室等の安全教育の実施 交通安全推進市民大会の開催
平成29年度の具体的な目標 交通事故発生件数の減少	平成29年度スケジュール ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。 ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。 ・交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)、交通安全ポスター展の開催

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	970	970	916	970	0	0	1,043	0	0	970	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	970	970	916	970	0	0	1,043	0	0	970	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	交通安全啓発活動	415	415	362	四季の交通安全運動を始めとする広報活動を実施。引き続き活動を推進する。
②	交通安全活動団体等への補助金・負担金交付	555	555	554	各団体等へ補助金を交付し、当初の予定通り達成できた。引き続き支援する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		970	970	916	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。
- ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。
- ・交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)、交通安全ポスター展の開催。

PLAN (計画)

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	310010101
3	10	01	01	交通安全対策事業	2	01	12	01	交通安全対策事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動等の街頭啓発(6回) ・関係団体への助成(554千円) ・交通安全フェア★もばら(交通安全推進市民大会)の参加者数(1,000人) 				交通事故発生件数の減少 (市内340件(前年比-73件)、郡内502件(前年比-107件))			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	交通安全運動等の街頭啓発を行い、交通安全対策を推進した。	A:有効である	交通事故発生件数が減少した。	B:やや効率的である	特に高齢者や自転車に関する交通安全対策の推進が必要である。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	街頭啓発、広報誌、市ウェブサイト、交通安全推進市民大会の開催などを行った。	A:実現している	街頭啓発、交通安全推進市民大会の開催や関係団体との連携を通じて取り組みを行った。	A:実現している	関係団体との連携を通じて取り組みを行った。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	交通事故発生件数は減少傾向にあり、本事業によるものと考え、十分な成果を挙げたものと考えている。引き続き、交通安全対策の推進に努める						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	街頭啓発等の広報活動により、交通事故の減少の一定の要因になったと考えられる。今後も関係団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図るものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通安全対策と自転車の安全利用対策 ・四季の交通安全運動等の広報啓発活動・関係団体との連携と助成 ・交通安全推進市民大会の参加者数の増加 				<ul style="list-style-type: none"> ・署管内と市内の交通事故発生件数・死亡者数の減少 ・高齢者に関する交通事故発生件数の減少 ・自転車に関する交通事故発生件数の減少 			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
交通事故発生件数の減少				<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。 ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。 ・交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)、交通安全ポスター展の開催 				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	10	01	02
交通安全施設等整備事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	01	04	02
交通安全施設整備事業			

実施計画整理番号	
310010201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	歩行者の安全を確保するために、通学路を中心とした歩道の整備等を推進する。	歩道の工事等を実施する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	2級18号線 … 隣接する田の稲刈り直後に工事着手となるよう発注する。 2級21号線 … 調査と並行し、用地取得を推進する。 1級5号線 … 工事設計、発注を行う。 自歩道 … 用地取得を実施し、工事設計、発注を行う。	2級18号線 … 上半期中に工事発注する。 2級21号線 … 用地・地質について調査を行い、用地の取得を行う。 1級5号線 … 第3四半期に工事発注を行う。 自歩道 … 上半期に用地取得し、第3四半期に工事発注を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	146,077	134,232	84,743	59,000	0	0	41,000	0	0	70,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	41,123	41,123	14,905	19,200	0	0	19,200	0	0	19,200	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	93,100	81,100	10,900	17,800	0	0	19,600	0	0	45,700	0	0
	その他	千円	0	0	0	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	11,854	12,009	58,938	2,000	0	0	2,200	0	0	5,100	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市道1級5号線ほか1路線の歩道整備	42,000	59,520	54,954	予定されていた路線の整備は完了した。
②	市道2級18号線の歩道整備	31,770	25,288	16,851	道路改良工事、交差点部の測量・詳細設計を実施した。今後も継続して事業を実施する。
③	市道2級21号線の歩道整備	43,810	20,938	10,710	事業用地6筆を取得した。用地取得済みの箇所から順次工事を実施していく。
④	市道1級17号線の歩道整備	0	0	0	
⑤	自転車歩行者道整備	28,000	28,000	1,742	事業用地を取得できたので、次年度より工事に着手する。
⑥	市道1級9号線の人溜り整備	497	486	486	用地・境界測量を実施した。国道に接する交差点部の為、県と連携し今後整備を進めていく。
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		146,077	134,232	84,743	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
2級18号線 … 道路改良工事L=80mを実施した。 2級21号線 … 事業用地6筆を取得、歩道整備の為に擁壁設置工事L=52mを実施した。 1級5号線/2級23号線 … 2-34についてはL=298m、1-5についてはL=185mの歩道整備をそれぞれ実施した。 自歩道 … 事業用地2筆の取得を実施した。 1級9号線 … 用地・境界測量を実施し、地元と用地や補償について交渉を行った。

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設等整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	02	交通安全施設整備事業

整理番号
310010201

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	歩道整備延長 317mの歩道整備を行った。		整備率 58.4km/124Km 47.1%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。		A:有効である 整備済箇所は歩道として供用出来るため、通行者の安全が図れた。		B:やや効率的である 整備延長が長く、単年度での完了は難しいため、現状維持が効果的である。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる 自治会回覧を行っている。		B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。		B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		自転車・歩行者の安全確保に関して十分な成果をあげている。未整備路線が多数あるので、事業拡大の必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		予定されていた箇所の歩道整備が行われたことから、一定の成果が挙げられたものと認められる。引き続き計画的な整備に努めるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
(斜線表示)						
庁議における方針						
(斜線表示)						

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	歩道整備延長		整備率	
	30年度における具体的な目標			
2級18号線 … 県道茂原環状線交差部までの工事を実施する。 2級21号線 … 調査や用地取得を推進し、並行して工事を実施する。 1級9号線 … 用地交渉、県との調整を行う。 自歩道 … 工事設計、発注を行い本年度完成を目指す。 3級2076号線 … 本納駅東地区まちづくり事業から交安事業に切替え、歩道整備を進めていく。		30年度における事務事業スケジュール 2級18号線 … 上半期中に工事発注する。 2級21号線 … 用地・地質について調査を行い、用地の取得を行う。 1級9号線 … 県主体で整備を実施する事から、工事負担金等の調整や協定の締結を適宜行う。 自歩道 … 繰越分の工事の完了見通しがついた段階で、残工事の発注を行う。 3級2076号線 … 線形の見直しが完了した時点で用地交渉を行って行く。		

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

実施計画整理番号	
310010202	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	交通事故防止のため、区画線やカーブミラー等の交通安全施設の整備補修を行う	通学路を中心とした学童の安全と、歩行者や自動車が安全に通行できるように区画線の設置や引き直しを実施する
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。	交通安全施設の整備補修を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,066	17,380	17,034	3,066	0	0	3,066	0	0	3,066	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,066	17,380	17,034	3,066	0	0	3,066	0	0	3,066	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	区画線の補修	1,786	15,190	14,850	継続的に区画線の補修を行っていく
②	交通安全施設の整備	1,280	2,190	2,184	継続的に交通安全施設の整備・管理を行っていく
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		3,066	17,380	17,034	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
交通安全施設整備工事10箇所 カーブミラー、反射立看板等購入

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

整理番号
310010202

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	交通安全施設の整備補修10箇所		交通安全施設の整備完了10箇所			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市が設置している交通安全施設については市が主体的に整備補修する必要がある。	A:有効である	交通安全施設の整備補修により交通事故防止に寄与した。	B:やや効率的である	交通安全施設の補修が一部にとどまったため。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、交通安全施設の整備補修箇所が多数残っている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね計画通り事業が実施されており、一定の成果が挙げられたものと認められる。交通安全施設の整備については、引き続き計画的に取り組むものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	交通安全施設の整備補修箇所数。		交通安全施設の整備が完了した箇所数。	
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
交通安全施設の整備補修を行う。		地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。		

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	放置自転車等対策事業

実施計画整理番号	
310010501	
総合戦略 整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
	放置自転車等による歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保を図る。	放置自転車防止啓発活動 駅前放置自転車等の整理
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	・放置自転車の減少	・定期的な放置自転車の撤去。 ・年間を通じた広報啓発活動。 ・市内高等学校での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン)

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	851	851	720	863	0	0	863	0	0	863	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	851	851	720	863	0	0	863	0	0	863	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	放置自転車等防止啓発	163	163	90	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	駅前放置自転車等整理業務委託	630	630	630	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	放置自転車等対策委員への報酬、団体への負担金交付	58	58	0	放置自転車の状況により、開催する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		851	851	720	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車クリーンキャンペーン等の広報啓発活動 ・駅前放置自転車整理委託(公益社団法人茂原市シルバー人材センター)

DO
(実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	310010501
3	10	01	05	放置自転車等対策事業	2	01	12	02	放置自転車等対策事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去数(221台) ・啓発活動数(57回) 				放置自転車の数(前年度比-4台)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	「自転車等放置防止に関する条例」に基づいた事業の実施のため。	A:有効である	駅前環境の美観の維持に寄与している。	A:効率的である	放置自転車の状況により、毎年見直している。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	撤去した自転車の所有者に対して引き取り通知を送付した。また、学生であれば通う学校に通知した。広報10月1日号で情報提供	その他	放置自転車等対策委員会を開催していない。	その他	放置自転車等対策委員会を開催していない。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	十分な成果を挙げた。引き続き、放置自転車の減少に努める。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	啓発活動等により、放置自転車の撤去数及び放置自転車数が減少しており、一定の効果があつたと認められる。引き続き関係団体と連携し、放置自転車の減少に取り組むものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去 ・啓発活動 				<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少 			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少 				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な放置自転車の撤去 ・年間を通じた広報啓発活動 ・市内高等学校での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン) 				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	03	自転車駐車場管理運営費

実施計画整理番号	
310010502	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要		
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)	
	駅周辺の良好な交通環境整備のため、自転車駐車場を管理運営する。	自転車駐車場の管理運営	
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール	
<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場利用者の現状維持 放置自転車の減少 指定管理者決定 (平成30年度から複数年契約 公募型プロポーザル方式による) 		<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場業務委託(4月) 年間を通じた施設管理 指定管理者選定(平成30年度から複数年契約) 	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	39,367	39,367	39,305	39,367	0	0	39,367	0	0	39,367	0	0	
財 源 内 訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	39,367	39,367	37,077	39,367	0	0	39,367	0	0	39,367	0	0
	一般財源	千円	0	0	2,228	0	0	0	0	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車駐車場施設管理	1,145	1,145	1,084	指定管理者による適切な業務が行われた。引き続き業務の指導を行う。
②	自転車駐車場業務委託	34,360	34,360	34,360	指定管理者による適切な業務が行われた。引き続き業務の指導を行う。
③	自転車駐車場用地借上げ	3,862	3,862	3,861	概ね達成できた。引き続き管理する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		39,367	39,367	39,305	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者決定(公益社団法人茂原市シルバー人材センター 平成30年度から平成32年度) 自転車駐車場の維持管理 自転車駐車場用地の借上げ(東日本旅客鉄道株式会社)

D
O
(
実
施
)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	310010502
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費	2	01	12	03	自転車駐車場管理運営費	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にとって利便性の高い施設の維持管理(場内照明灯修繕等) ・自転車駐車場(駐車可能台数:3,606台)の整備 ・自転車駐車場利用者数 (延べ人数 定期:18,208件、一時:68,391件、還付:5件) ・放置自転車の撤去数(221台) 				放置自転車の数(前年度比-4台)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	「茂原市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例」に基づいた事業の取り組みを行った。	A:有効である	放置自転車の防止と安全な交通環境の確保、駅前環境の美観の維持に寄与している。	A:効率的である	運営経費を維持したまま、利用者のニーズにあった運営を行った。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	広報や市ウェブサイト等で広報した。	A:実現している	指定管理者が利用者の意見書を場内で集め、市と協議し運営に反映させた。	C:実現の余地がない	指定管理者に委ねた。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	86,000人を超える利用者があり、十分な成果を挙げた。課題として、利用者が年々減少傾向であり、委託料や施設維持管理費用が増加傾向にあることから、今後の施設運営について検討する必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	利用者が減少(前年比△740件)しており、利用者数を維持させる方策が必要である。利用者の利便性を考慮した維持管理を実施するものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

A C T (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場の駐車可能台数 ・施設利用の促進・啓発活動数 ・自転車駐車場利用者数 ・放置自転車の撤去台数 				<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場利用者の増加 ・放置自転車の減少 			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場利用者の現状維持 ・放置自転車の減少 				<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場業務委託(4月) ・年間を通じての施設管理 				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	11	01	01	消費生活相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	02	消費生活相談事業

実施計画整理番号	
311010101	
総合戦略 整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
消費者の保護を図るため、消費生活相談体制の充実に努める。 また、トラブルを未然に防ぐため、市民を対象とした消費生活講座や中学生を対象とした出前授業を行い、消費生活に関する知識の普及や啓発に努める。	消費生活相談の実施 消費生活支援講座・消費生活講座の実施 出前授業の実施
平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
・消費生活相談員・担当職員の研修参加により資質向上を図る。 ・見守りネットワーク構築のため、庁内連携を図る。	・通年 消費生活相談の実施、相談員の研修参加 ・H29.9月～12月 中学1年生に対する出前授業 ・H29.10月 消費生活支援講座 ・H29.11月～12月 消費生活講座(全3回) ・H29.7月～9月 啓発活動

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,810	2,810	2,796	2,755	0	0	2,578	0	0	2,755	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	2,245	2,245	2,239	2,362	0	0	2,010	0	0	916	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	565	565	557	393	0	0	568	0	0	1,839	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	消費生活相談の実施	2,115	2,115	2,110	消費生活相談を平日毎日実施した。引き続き相談体制の充実に努める。
②	かしこい消費者づくりの推進	329	329	328	各種講座等を開催し、消費者意識の高揚に努めた。今後も消費者教育の推進に努める。
③	消費生活センターの運営	366	366	358	消費生活センターを適正に運営した。引き続き適正な運営に努める。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,810	2,810	2,796	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・消費生活相談を平日毎日実施
- ・消費生活講座、消費生活支援講座の開催。 ・NPO主催の子どもあそびひろばにて消費生活コーナーを開催。
- ・相談員の研修のため弁護士による研修会の開催及び国・県等への研修に積極的に参加し、資質向上に努めた。
- ・消費生活推進員と共にセンターの啓発活動をショッピングプラザアスモで実施。
- ・市内全中学1年生を対象に啓発用冊子を活用し、消費生活に関する出前授業を実施。

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	311010101
3	11	01	01	消費生活相談事業	2	01	15	02	消費生活相談事業	

29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
<ul style="list-style-type: none"> 消費生活支援講座(1回60千円)、消費生活講座(3回9千円)の実施 市内7中学校への出前授業の実施 街頭啓発活動の実施 					<ul style="list-style-type: none"> 消費生活支援講座(1回・150名)、消費生活講座(3回・延べ68名)の実施 講座アンケートによる満足度は講演会・消費生活講座ともに96% 広報、街頭啓発によりセンターの周知を図った 				
妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
A:妥当である	消費生活相談は地方自治体が行うべき行政サービスである		A:有効である	市民の消費者トラブル防止・解決に有効である		A:効率的である	専門の相談員が適正に配置されているが、消費者教育の必要性により増員の可能性が考えられる		
「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
A:実現している	広報等により消費生活センターの周知及び事例紹介・情報提供などを定期的実施している		B:実現に向けて取り組んでいる	推進員等を通じて提言を受けける環境を整備していく		A:実現している	NPOと協働してイベントを実施している。センターの運営についても協働の可能性を検討していく		
所管による評価とその理由、課題・問題点									
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	消費生活相談事業の実施により、消費者被害の未然防止・被害回復が図られた。しかし、相談体制の充実だけでは消費者被害はなくならないため、消費者被害の未然防止に向けた消費者教育と啓発活動を通して市民の消費生活の安定と向上に努める。また、消費生活上特に配慮を要する消費者の見守り等必要な取組を検討する。								
企画政策課での評価とその理由									
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	消費生活支援講座等様々な啓発活動を行っており、受講者の満足度も良好なことから、十分な成果があったものと認められる。引き続き、消費生活における知識の普及及び啓発に努めるものとする。								
政策調整会議での評価とその理由									
庁議における方針									

30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定				
<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談の実施(受付件数) 各種講座の実施 消費生活センターの周知 					<ul style="list-style-type: none"> 講座の実施回数及び参加人数 講座アンケートで講座内容の満足度90%以上 消費生活センターの周知啓発を年2回以上 				
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> 通年 消費生活相談の実施、相談員の研修参加、啓発活動 H30.9～11月 中学1年生に対する出前授業 H30.10 消費生活支援講座 H30.10～11月 消費生活講座(全3回) 					<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談員、担当職員の研修参加により資質向上を図る 見守りネットワーク構築のため庁内の連携を図る 				

CHECK(評価)

ACT(改善)